

日本外傷データバンク報告 2011 (2006-2010)

JAPAN TRAUMA DATA BANK REPORT 2011 (2006-2010)

- 日本外傷学会 ト라우マレジストリー検討委員会 
- 日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会 

図1 JTDB参加施設名(全172施設 順不同)

市立札幌病院	慶應義塾大学病院	大阪市立大学医学部附属病院	横浜市立市民病院
日鋼記念病院	昭和大学横浜市北部病院	大阪府立急性期・総合医療センター	大垣市民病院
札幌医科大学附属病院	国立横浜病院	国立病院機構大阪医療センター	聖路加国際病院
北海道大学病院	日本医科大学武蔵小杉病院	神戸大学医学部附属病院	諏訪赤十字病院
八戸市立市民病院	済生会横浜市東部病院	兵庫県災害医療センター	小田原市立病院
岩手医科大学	聖マリアンナ医科大学	公立豊岡病院	加古川医療センター
岩手県立久慈病院	関東労災病院	公立村岡病院	栃木県済生会宇都宮病院
仙台市立病院	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	関西労災病院	横須賀共済病院
石巻赤十字病院	東海大学医学部附属病院	奈良県立奈良病院	佐賀大学医学部附属病院
太田西ノ内病院	昭和大学藤が丘病院	奈良県立医科大学	弘前大学医学部附属病院
会津中央病院	北里大学病院	和歌山県立医科大学附属病院	兵庫県立淡路病院
筑波メディカルセンター病院	横須賀市立うわまち病院	津山中央病院	宮崎大学医学部附属病院
獨協医科大学病院	横浜市立みなと赤十字病院	川崎医科大学附属病院	鹿児島市立病院
群馬大学医学部附属病院	横浜市立市民病院	岡山大学医学部・歯学部附属病院	熊本医療センター
前橋赤十字病院	富山県立中央病院	県立広島病院	高崎総合医療センター
さいたま赤十字病院	富山大学附属病院	中国労災病院	近江八幡市立総合医療センター
川口市医療センター	山梨県立中央病院	山口大学医学部附属病院	福岡和白病院
獨協医科大学越谷病院	佐久総合病院	徳島県立中央病院	秋田赤十字病院
防衛医科大学校病院	信州大学医学部附属病院	徳島県立三好病院	藤田保健衛生大学医学部 救急科
埼玉医科大学総合医療センター	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	医療法人倚山会 田岡病院	社会保険 徳島中央病院
船橋市立医療センター	JA岐阜厚生連中濃病院	香川大学医学部附属病院	大阪府立中河内救命救急センター
国保旭中央病院	岐阜大学医学部附属病院	愛媛県立中央病院	琉球大学医学部附属病院
日本医科大学千葉北総病院	高山赤十字病院	愛媛大学医学部附属病院救急部	済生会滋賀県病院
千葉県救急医療センター	沼津市立病院	高知医療センター	呉医療センター 中国がんセンター
亀田総合病院	静岡赤十字病院	久留米大学病院	水戸医療センター
国保直営総合病院君津中央病院	聖隷三方ヶ原病院	飯塚病院	
昭和大学病院	静岡済生会総合病院	健和会大手町病院	
国立病院東京医療センター	豊橋市民病院	北九州市立八幡病院	
都立広尾病院	愛知医科大学医学部附属病院	九州大学病院	
武蔵野赤十字病院	名古屋掖済会病院	北九州総合病院	
日本医科大学多摩永山病院	社会保険中京病院	小倉記念病院	
東京医科大学	岡崎市民病院	済生会福岡総合病院	
帝京大学病院	総合大雄会病院	福岡大学病院	
国立国際医療センター	大阪府泉州救命救急センター	雪ノ聖母会聖マリア病院	
東京女子医科大学東医療センター	大阪府済生会千里病院	荒尾市民病院	
国立病院機構災害医療センター	阪和記念病院	熊本赤十橋病院	
日本医科大学付属病院	大阪府三島救命救急センター	佐賀県立病院好生館	
杏林大学医学部附属病院	近畿大学医学部附属病院	国立病院機構長崎医療センター	
駿河台日本大学病院	岸和田徳洲会病院	大分大学医学部附属病院	
東京女子医科大学	大阪大学医学部附属病院	県立宮崎病院	
青梅市立総合病院	大阪府立総合医療センター	愛心会大隅鹿屋病院	
日本大学医学部附属板橋病院	関西医科大学附属滝井病院	沖縄県立中部病院	
手稲山溪仁会病院	兵庫県立西宮病院	浦添総合病院	
大崎市民病院	静岡県立こども病院	敬愛会中頭病院	
自治医大病院	福井県立病院	沖縄県立北部病院	
順天堂大学浦安病院	湘南鎌倉総合病院	徳島県立海部病院	
東京医科歯科大学医学部附属病院	埼玉医大国際医療センター	茨城西南医療センター病院	
東京都立墨東病院	関門医療センター	広島大学病院	
東京医科大学八王子医療センター	鳥取大学医学部附属病院	東北大学病院	

施設数

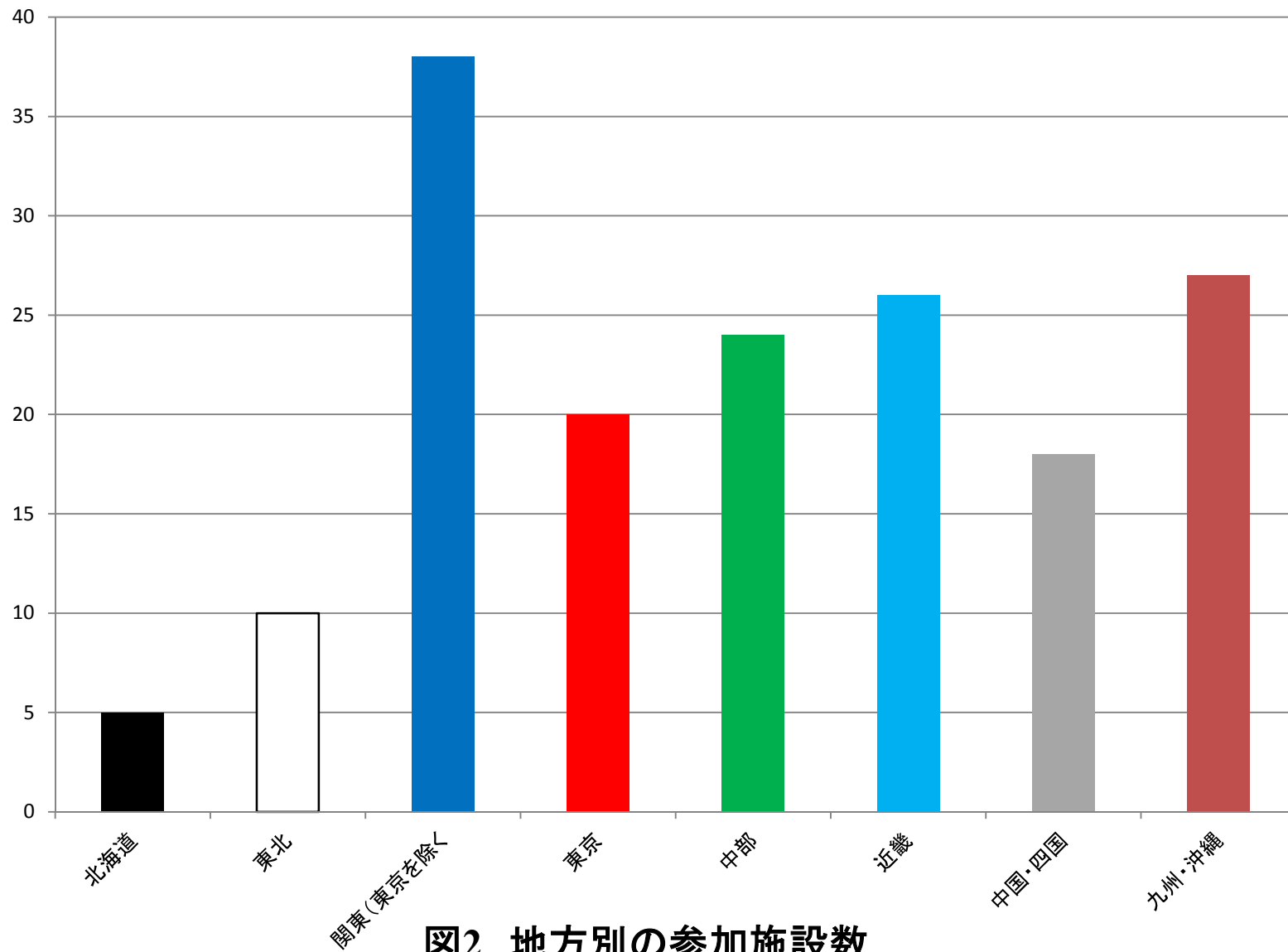


図2 地方別の参加施設数

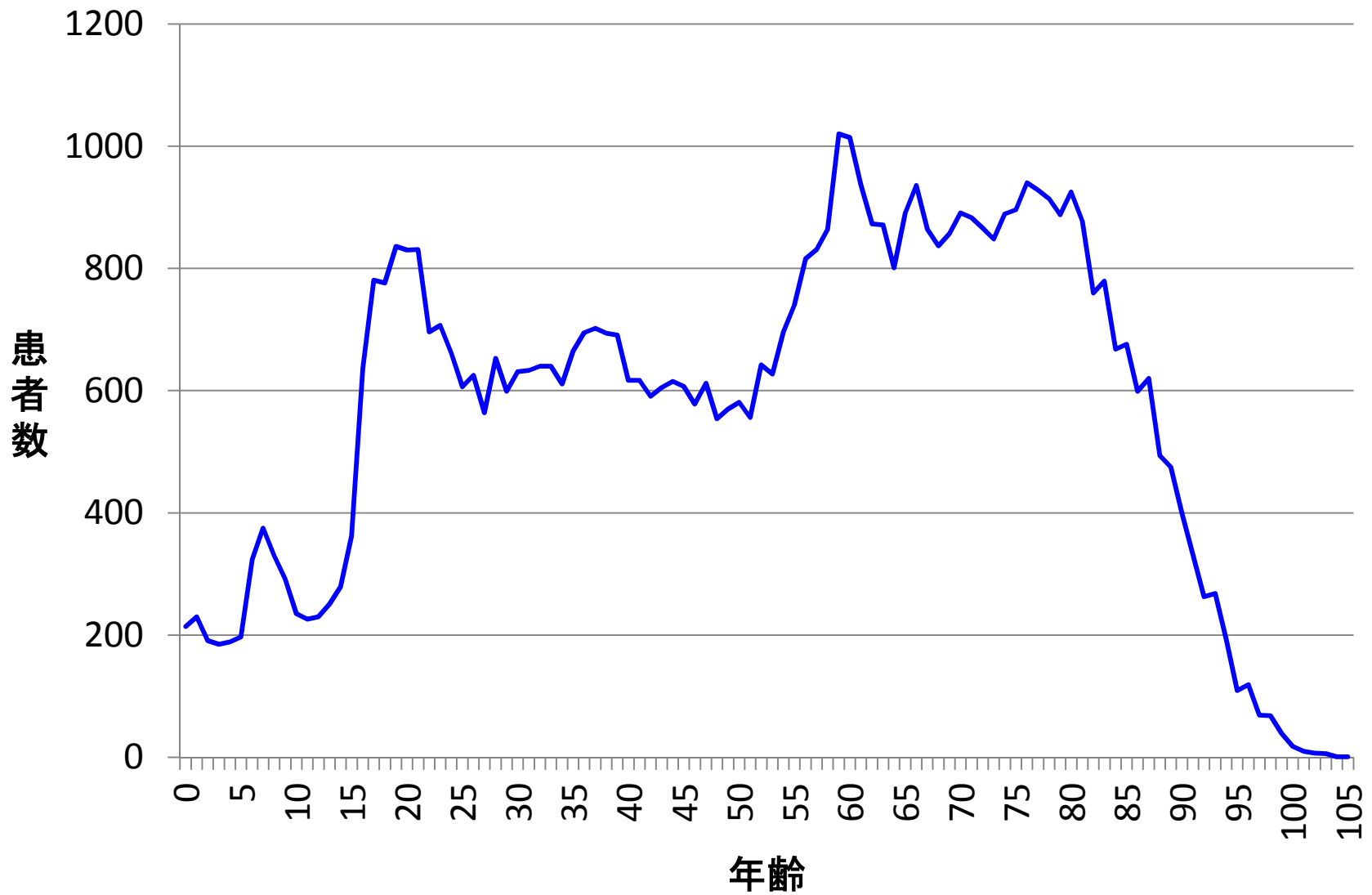


図3 全症例年齢分布

二峰性の分布を示す。

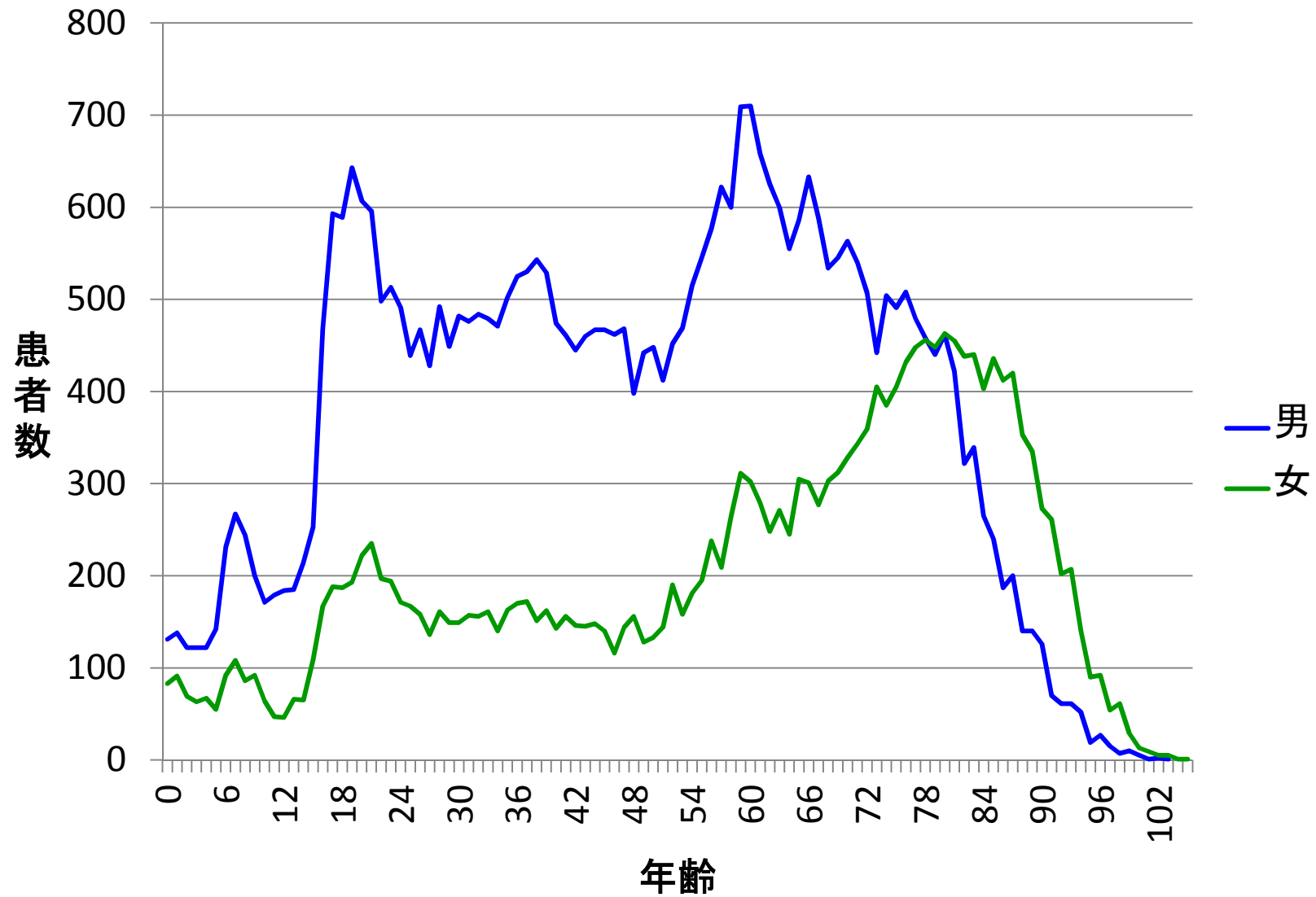


図4 性別年齢分布

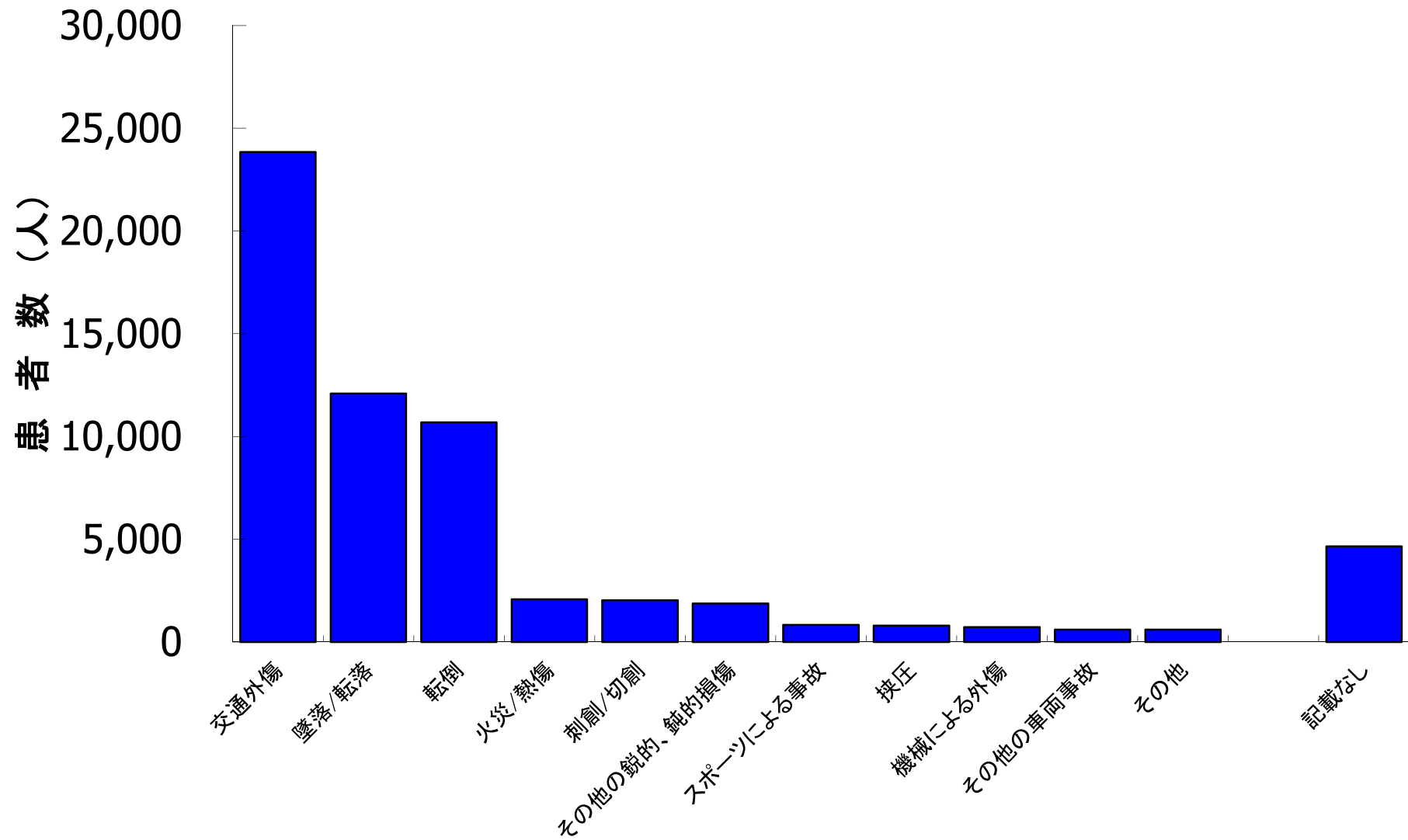


図5 受傷機転別の患者数

受傷機転	患者数 (人)	受傷機転別患者数の 割合(%)
交通外傷	23841	39.2
墜落/転落	12082	19.9
転倒	10689	17.6
火災/熱傷	2072	3.4
刺創/切創	2030	3.3
その他の鋭的、鈍的損傷	1873	3.1
スポーツによる事故	828	1.4
挟圧	790	1.3
機械による外傷	722	1.2
その他の車両事故	599	1.0
落下物、飛来物	499	0.8
杵創(刺杭創)	59	0.1
銃創	37	0.1
記載なし・不明	4646	7.6
計	60767	100.0

表5 受傷機転別の患者数の割合

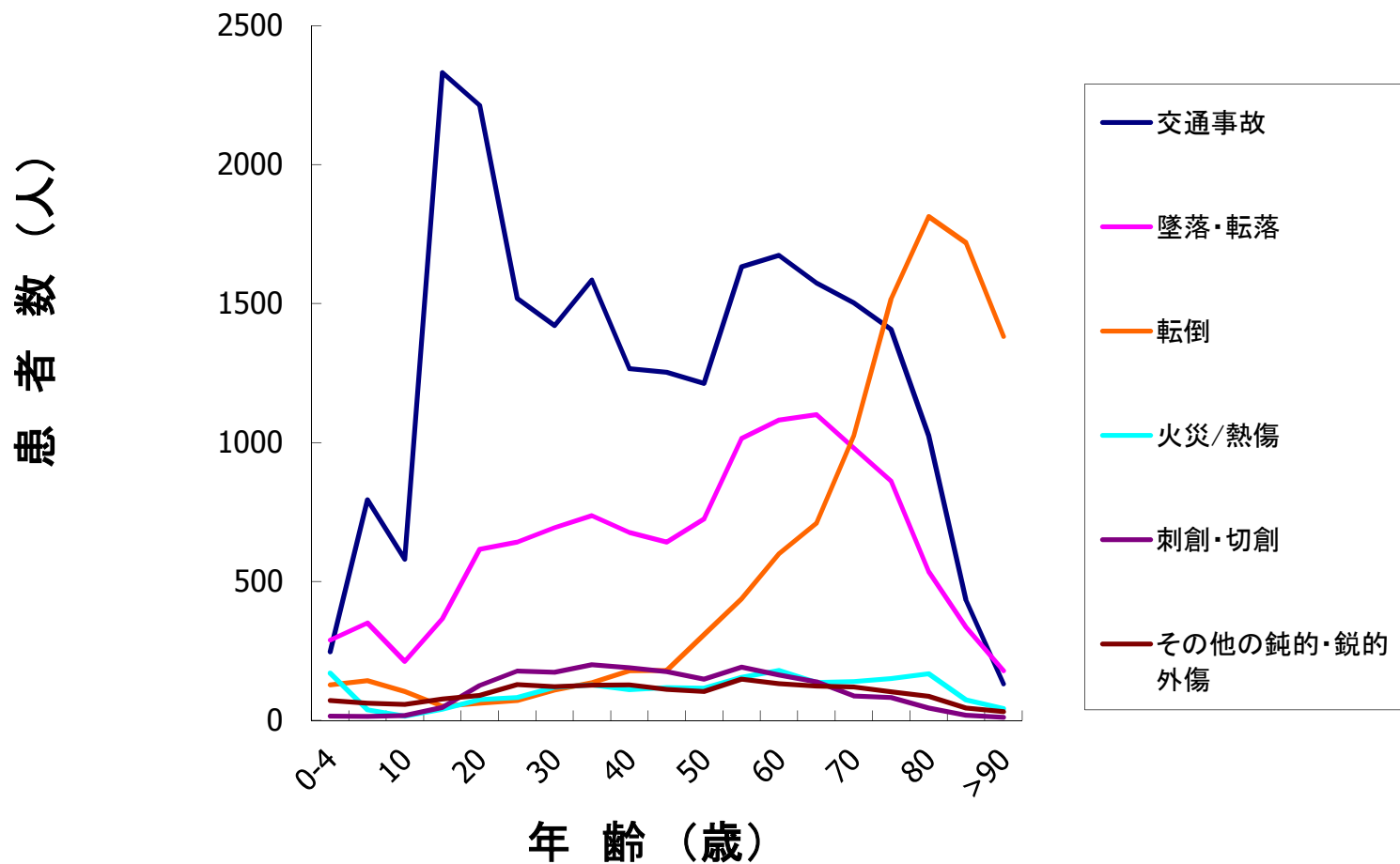


図6 受傷機転別患者数の年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

年齢範囲 (歳)	交通外傷 (人)	交通外傷の 年齢層別割 合(%)	墜落/転落 (人)	墜落/転落 の年齢層 別割合(%)	転倒(人)	転倒患者 の年齢層 別割合(%)	刺創/切創 (人)	刺創/切創 の年齢層 別割合(%)	火災/熱傷 (人)	火災/熱傷 の年齢層 別割合(%)	その他の鈍 的鋭的損 傷(人)	その他の鈍 的鋭的損 傷の年齢 層別割合 (%)
0-4	247	1.04	289	2.39	128	1.20	15	0.74	170	8.20	72	3.84
5-9	794	3.33	351	2.91	143	1.34	14	0.69	38	1.83	62	3.31
10-14	580	2.43	212	1.75	104	0.97	18	0.89	15	0.72	57	3.04
15-19	2331	9.78	366	3.03	51	0.48	47	2.32	40	1.93	77	4.11
20-24	2213	9.28	616	5.10	62	0.58	126	6.21	75	3.62	90	4.81
25-29	1518	6.37	642	5.31	72	0.67	178	8.77	82	3.96	129	6.89
30-34	1420	5.96	694	5.74	109	1.02	173	8.52	119	5.74	121	6.46
35-39	1585	6.65	737	6.10	135	1.26	200	9.85	128	6.18	127	6.78
40-44	1266	5.31	676	5.60	179	1.67	190	9.36	111	5.36	128	6.83
45-49	1253	5.26	642	5.31	180	1.68	175	8.62	118	5.69	112	5.98
50-54	1213	5.09	725	6.00	308	2.88	148	7.29	116	5.60	104	5.55
55-59	1632	6.85	1015	8.40	437	4.09	192	9.46	155	7.48	148	7.90
60-64	1673	7.02	1081	8.95	599	5.60	163	8.03	180	8.69	132	7.05
65-69	1574	6.60	1100	9.10	710	6.64	139	6.85	137	6.61	124	6.62
70-74	1503	6.30	980	8.11	1024	9.58	88	4.33	140	6.76	120	6.41
75-79	1406	5.90	861	7.13	1517	14.19	82	4.04	151	7.29	103	5.50
80-84	1025	4.30	536	4.44	1813	16.96	44	2.17	168	8.11	87	4.64
85-89	433	1.82	336	2.78	1719	16.08	19	0.94	74	3.57	44	2.35
>=90	131	0.55	179	1.48	1381	12.92	11	0.54	42	2.03	32	1.71
不明・記載なし	44	0.18	44	0.36	18	0.17	8	0.39	13	0.63	4	0.21
計	23841		12082		10689		2030		2072		1873	

表6 受傷機転別の年齢層別分布

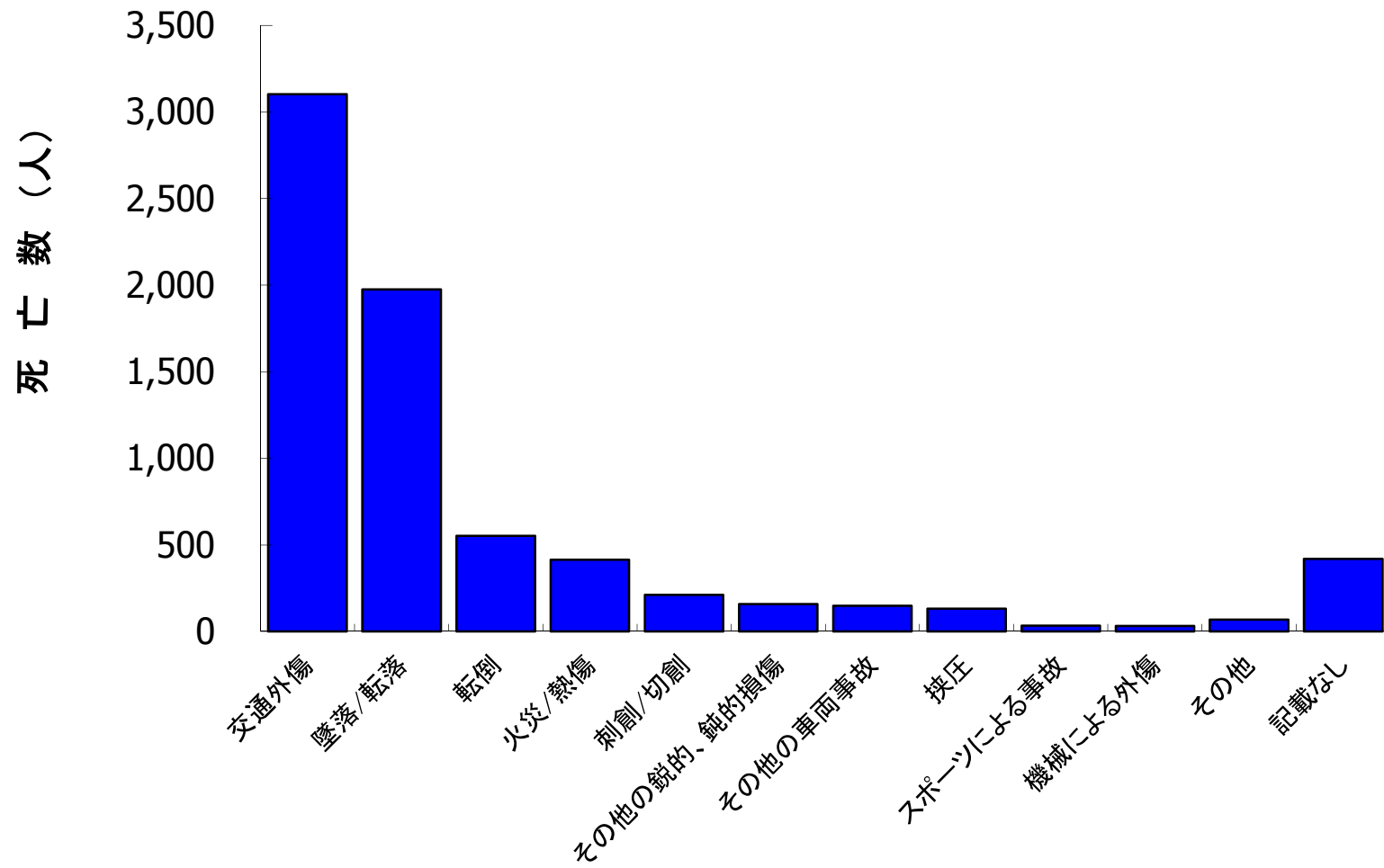


図7 受傷機転別の死亡数

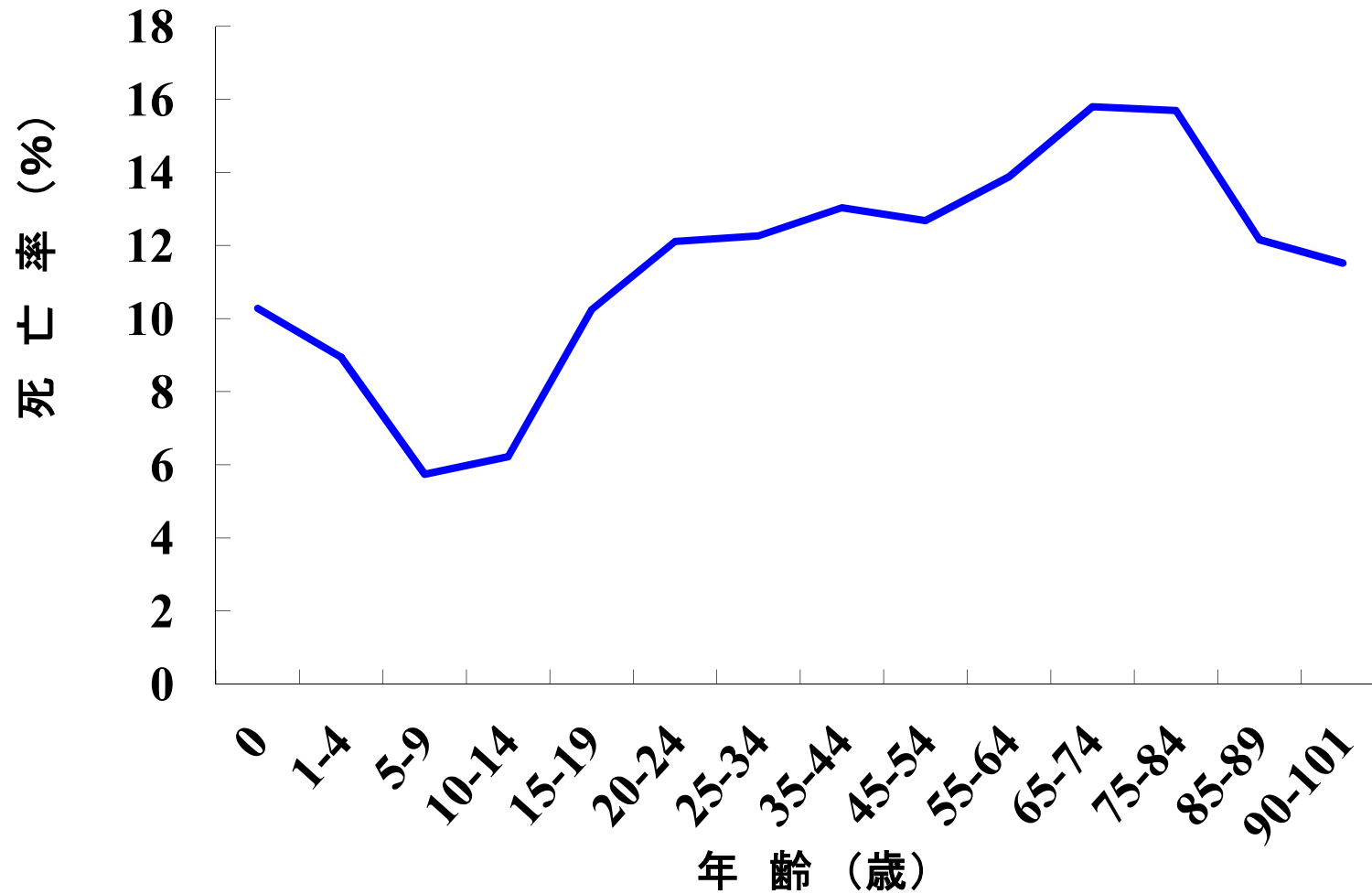


図8 年齢別の死亡率

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

年齢	患者数	死亡数	死亡率(%)
0	214	22	10.28
1-4	794	71	8.94
5-9	1,517	87	5.74
10-14	1,221	76	6.22
15-19	3,390	347	10.24
20-24	3,724	451	12.11
25-34	6,201	760	12.26
35-44	6,492	846	13.03
45-54	6,023	764	12.68
55-64	8,763	1,216	13.88
65-74	8,760	1,384	15.80
75-84	8,574	1,345	15.69
85-89	2,863	348	12.16
90-101	1,901	219	11.52

表8 年齢別の死亡率

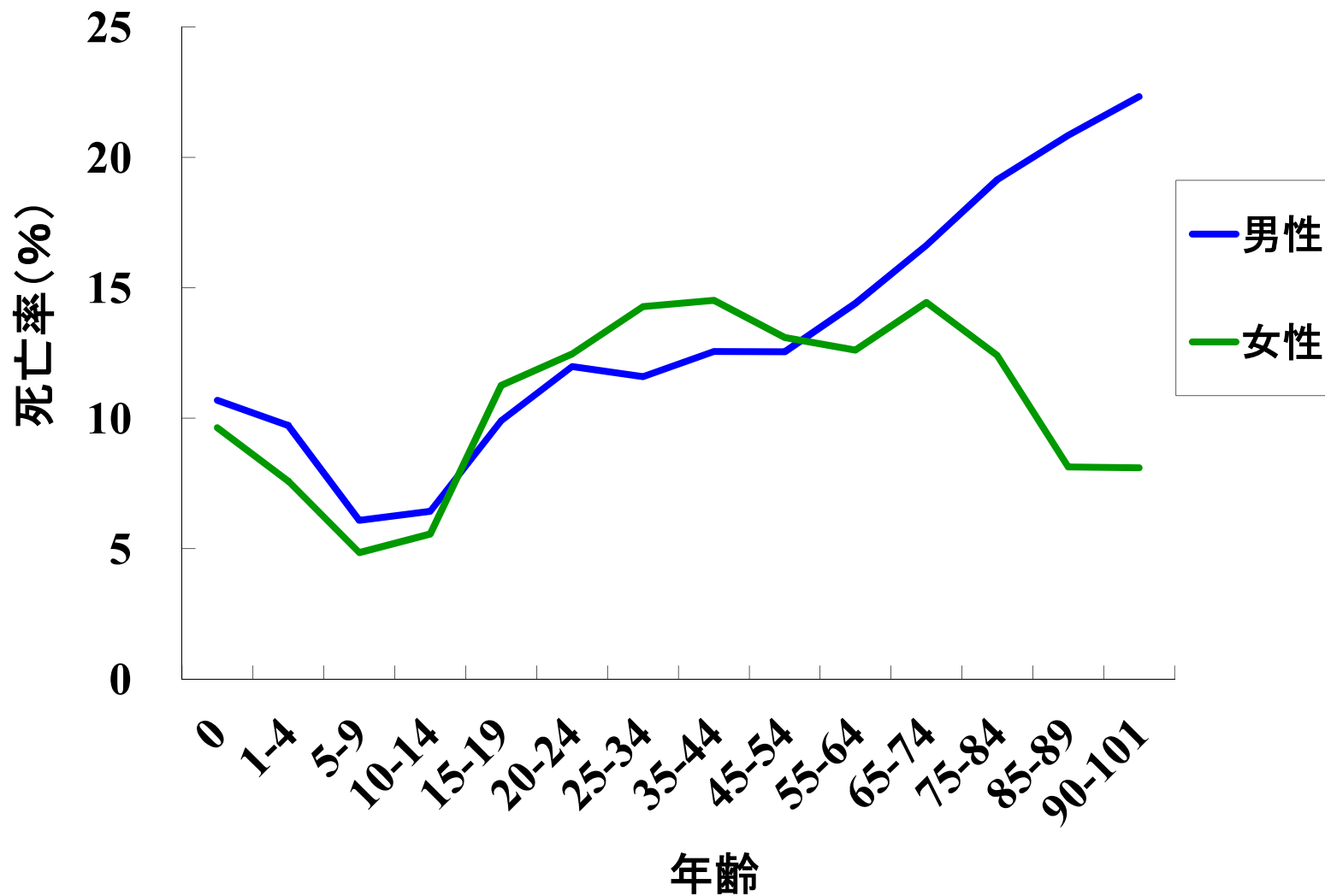


図9 性別と年齢別の患者死亡率

年齢	患者数(男)	死亡数	死亡率(%)	患者数(女)	死亡数	死亡率(%)
0	131	14	10.69	83	8	9.64
1-4	504	49	9.72	290	22	7.59
5-9	1,084	66	6.09	433	21	4.85
10-14	933	60	6.43	288	16	5.56
15-19	2,546	252	9.9	844	95	11.26
20-24	2,705	324	11.98	1,019	127	12.46
25-34	4,667	541	11.59	1,534	219	14.28
35-44	4,936	620	12.56	1,556	226	14.52
45-54	4,533	569	12.55	1,490	195	13.09
55-64	6,201	893	14.4	2,562	323	12.61
65-74	5,442	905	16.63	3,318	479	14.44
75-84	4,186	801	19.14	4,388	544	12.4
85-89	907	189	20.84	1,956	159	8.13
90-101	457	102	22.32	1,444	117	8.1

表9. 性別と年齢別の患者死亡率

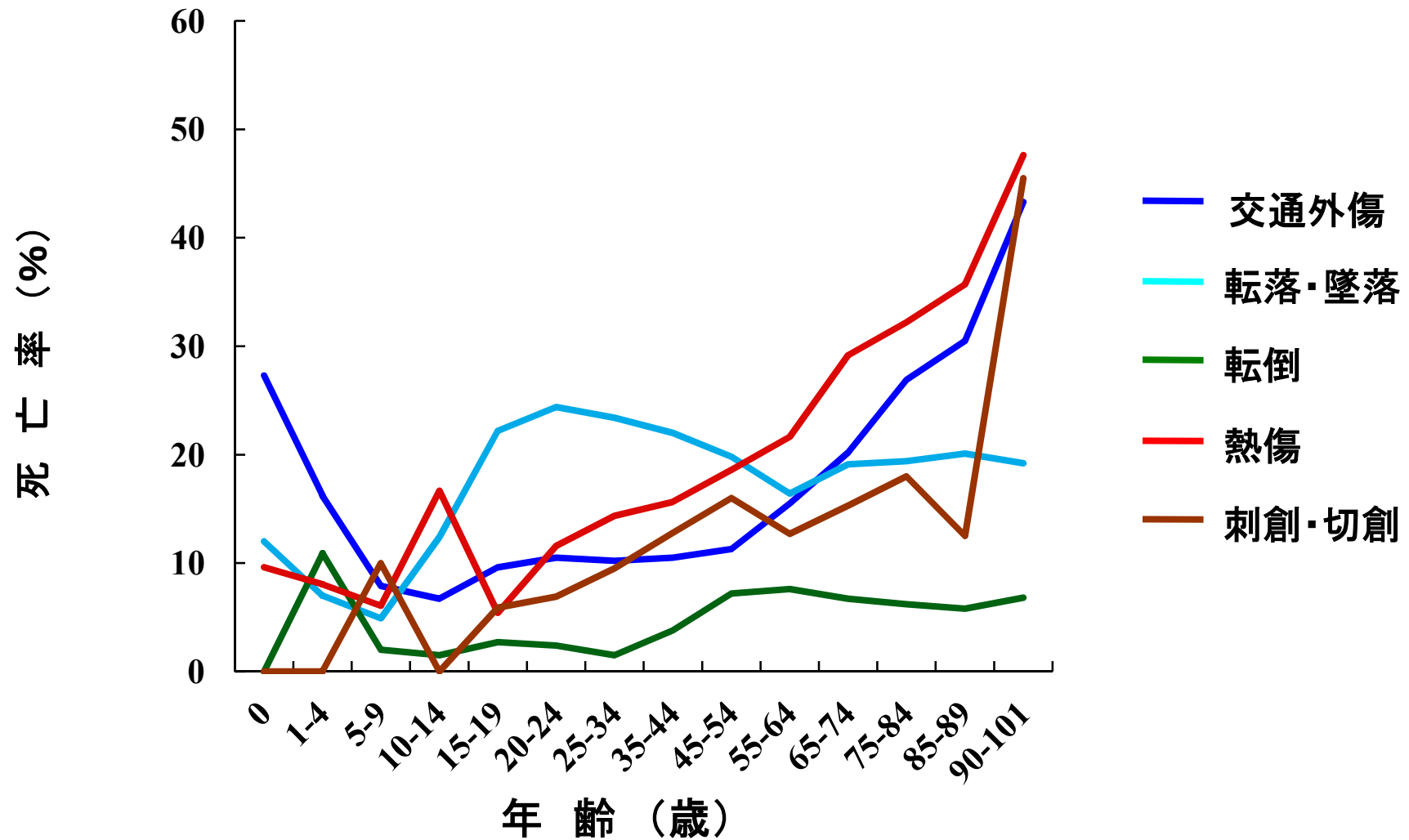


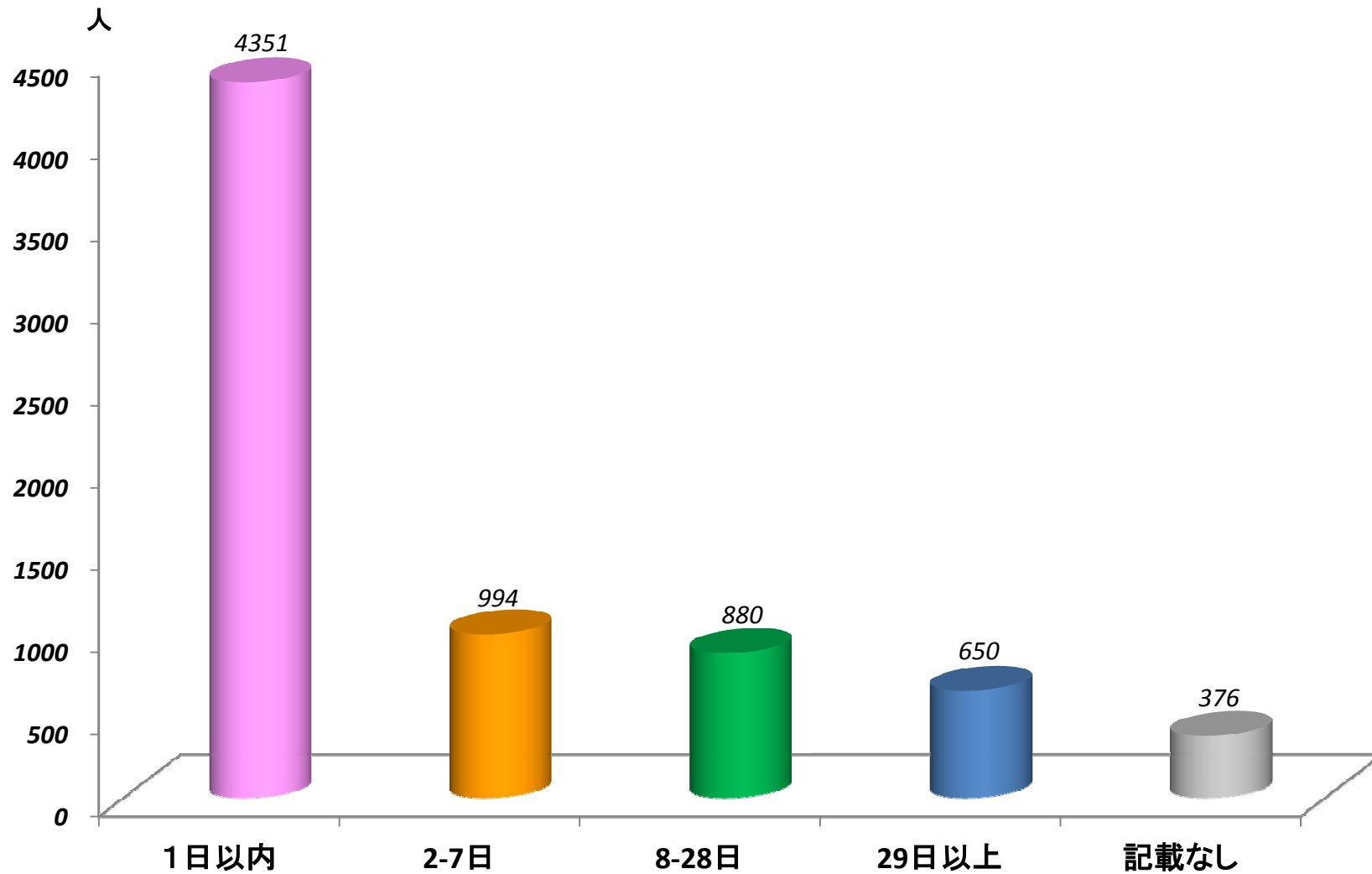
図10 受傷機転と年齢別の患者死亡率

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

年齢	交通外傷患者数	交通外傷死亡数	交通外傷死亡率(%)	転落・墜落患者数	転落・墜落死亡数	転落・墜落死亡率(%)	転倒患者数	転倒死亡数	転倒死亡率(%)
0	22	6	27.30	50	6	12.00	32	0	0.00
1-4	229	37	16.20	185	13	7.00	46	5	10.90
5-9	801	63	7.90	287	14	4.90	98	2	2.00
10-14	584	39	6.70	169	21	12.40	68	1	1.50
15-19	2,343	225	9.60	306	68	22.20	37	1	2.70
20-24	2,230	234	10.50	516	126	24.40	42	1	2.40
25-34	2,956	301	10.20	1,125	263	23.40	130	2	1.50
35-44	2,876	302	10.50	1,196	263	22.00	238	9	3.80
45-54	2,480	281	11.30	1,166	231	19.80	376	27	7.20
55-64	3,350	520	15.50	1,801	296	16.40	860	65	7.60
65-74	3,123	631	20.20	1,785	341	19.10	1,425	95	6.70
75-84	2,470	665	26.90	1,197	232	19.40	2,878	178	6.20
85-89	440	134	30.50	288	58	20.10	1,491	86	5.80
90-101	134	58	43.30	151	29	19.20	1,174	80	6.80

年齢	熱傷患者数	熱傷死亡数	熱傷死亡率(%)	刺創・切創患者数	刺創・切創死亡数	刺創・切創死亡率(%)
0	52	5	9.62	1	0	0.00
1-4	112	9	8.04	3	0	0.00
5-9	33	2	6.06	10	1	10.00
10-14	12	2	16.67	8	0	0.00
15-19	37	2	5.41	34	2	5.90
20-24	69	8	11.59	102	7	6.90
25-34	188	27	14.36	275	26	9.50
35-44	224	35	15.63	313	40	12.80
45-54	226	42	18.58	262	42	16.00
55-64	328	71	21.65	284	36	12.70
65-74	264	77	29.17	190	29	15.30
75-84	298	96	32.21	111	20	18.00
85-89	70	25	35.71	16	2	12.50
90-101	42	20	47.62	11	5	45.50

表10 受傷機転と年齢別の患者死亡率



「1日以内」には、心肺停止症例と初療室での死亡を含む。

図11A 受傷から死亡までの入院期間と症例数 n = 7,215

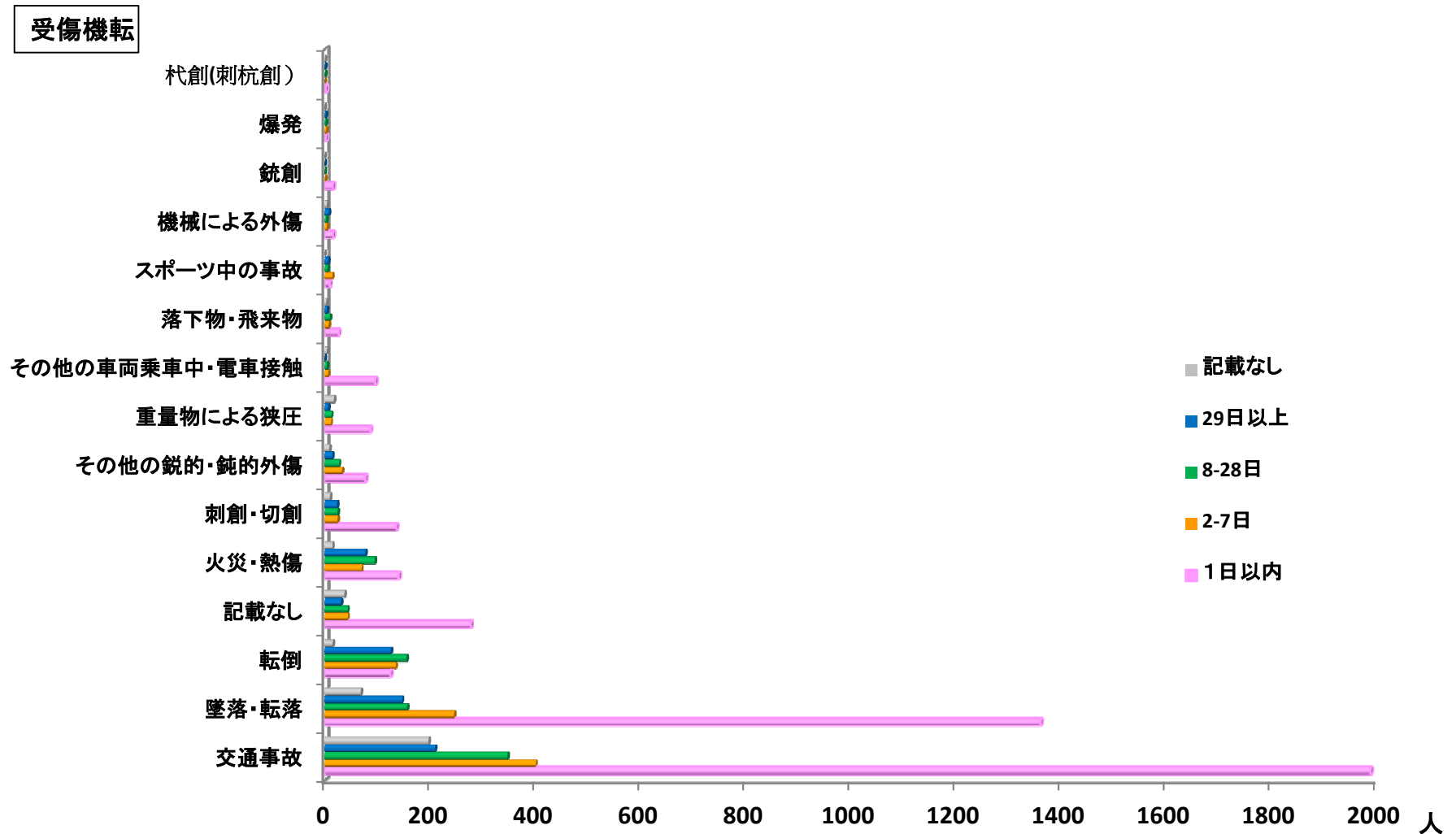


図11B 受傷機別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 7,215

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

	交通事故	墜落・転落	転倒	記載なし	火災・熱傷	刺創・切創	その他の 鋭的・鈍的 外傷	重量物による 狭圧
1日以内	1989	1361	124	277	139	135	77	86
2-7日	400	245	134	43	70	23	33	11
8-28日	347	156	155	43	94	23	26	12
29日以上	209	147	125	30	77	22	14	6
記載なし	197	67	15	37	14	9	8	17
計	3142	1976	553	430	394	212	158	132

	その他の 車両乗車中・電 車接触	落下物 ・飛来物	スポーツ中 の事故	機械による 外傷	銃創	爆発	杵創 (刺杭創)	計
1日以内	95	25	9	15	15	2	2	4351
2-7日	6	7	14	4	1	3	0	994
8-28日	4	9	5	3	0	2	1	880
29日以上	0	4	6	7	0	2	1	650
記載なし	4	3	0	4	0	0	1	376
計	109	48	34	33	16	9	5	7251

表11B 受傷転機別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 7,215

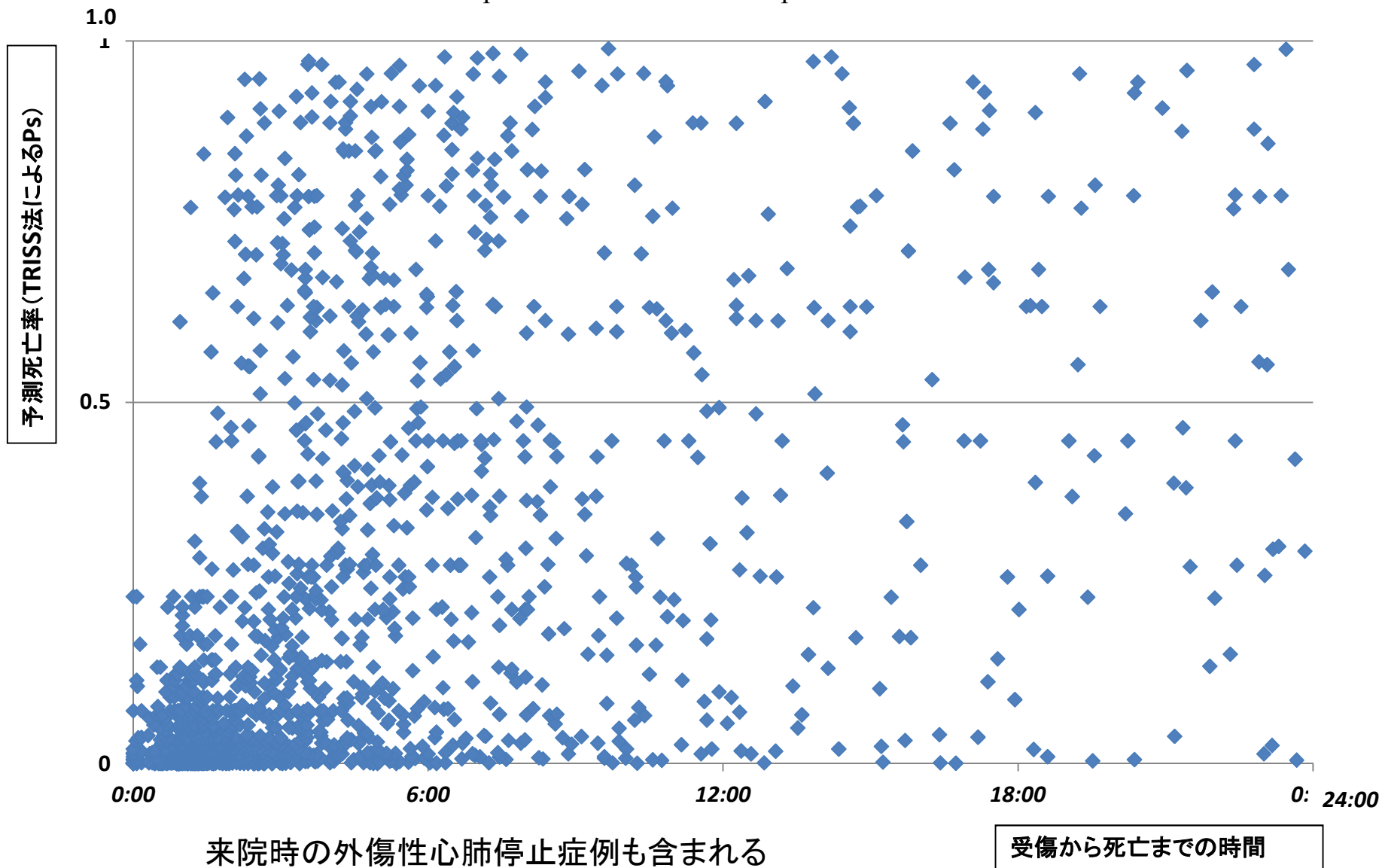
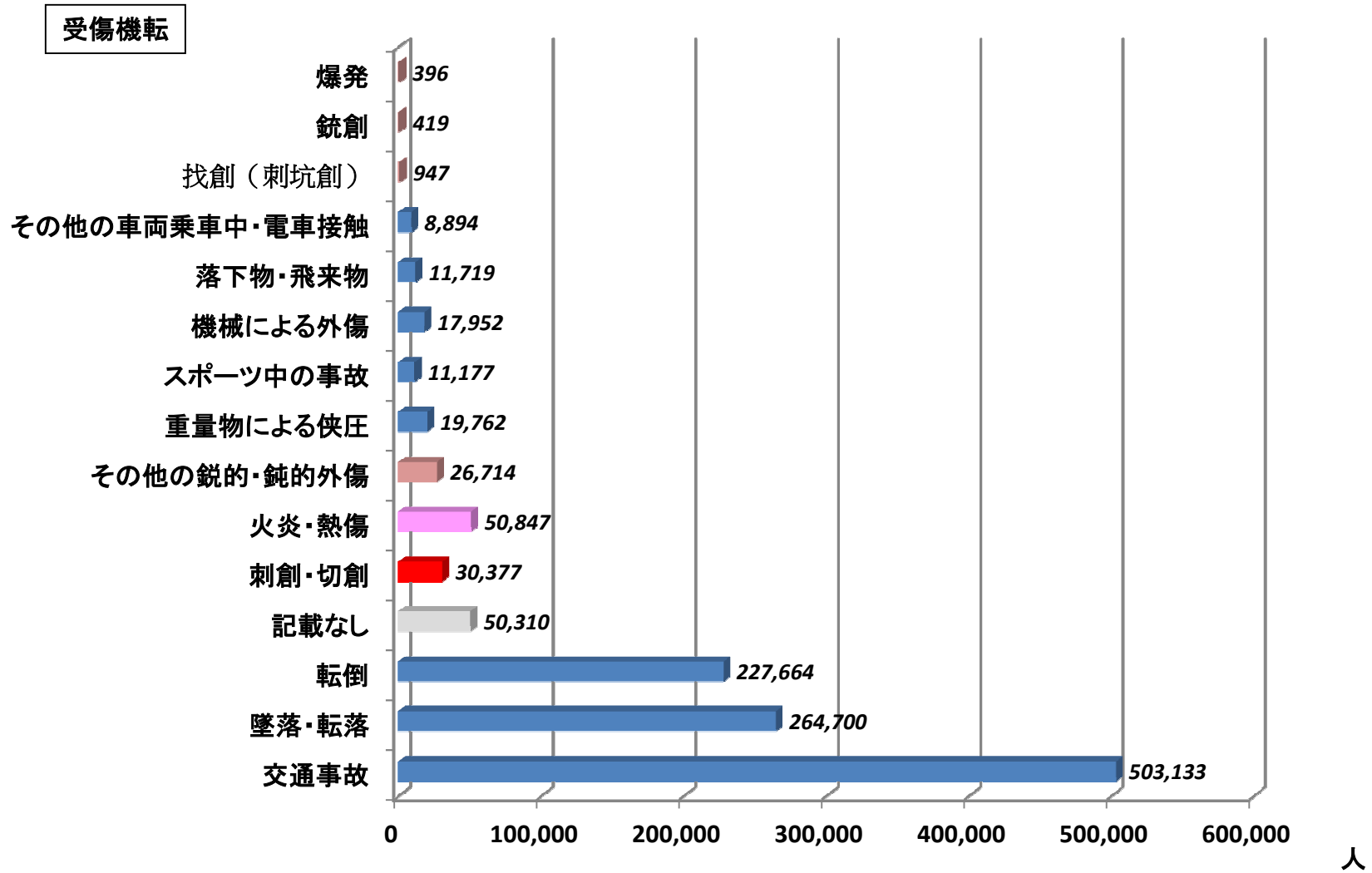


図11C 受傷から死亡までの時間と予測生存率jの関係 n = 1,728



症例数は49,155で、累積入院日数は1,225,011であった。
 鈍的外傷は青、穿通性外傷は赤、火炎・熱傷および爆発をピンクで示した。

図12 受傷機転別の累積入院日数 n = 49,155

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

受傷転機	症例数		累積入院日数	平均入院日数
交通事故	20,143	41.0%	503,133	24.98
墜落・転落	10,253	20.9%	264,700	25.82
転倒	8,976	18.3%	227,664	25.36
記載なし	2,444	5.0%	50,310	20.59
刺創・切創	1,643	3.3%	30,377	18.49
火炎・熱傷	1,627	3.3%	50,847	31.25
その他の鋭的・鈍的外傷	1,436	2.9%	26,714	18.60
重量物による圧迫	655	1.3%	19,762	30.17
スポーツ中の事故	644	1.3%	11,177	17.36
機械による外傷	579	1.2%	17,952	31.01
落下物・飛来物	386	0.8%	11,719	30.36
その他の車両乗車中・電車接触	275	0.6%	8,894	32.34
浅創（刺坑創）	49	0.1%	947	19.33
銃創	27	0.1%	419	15.52
爆発	18	0.0%	396	22.00
計	49,155		1,225,011	24.92

表12 受傷機転別の症例数、累積入院日数、平均入院日数 n = 49,155

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

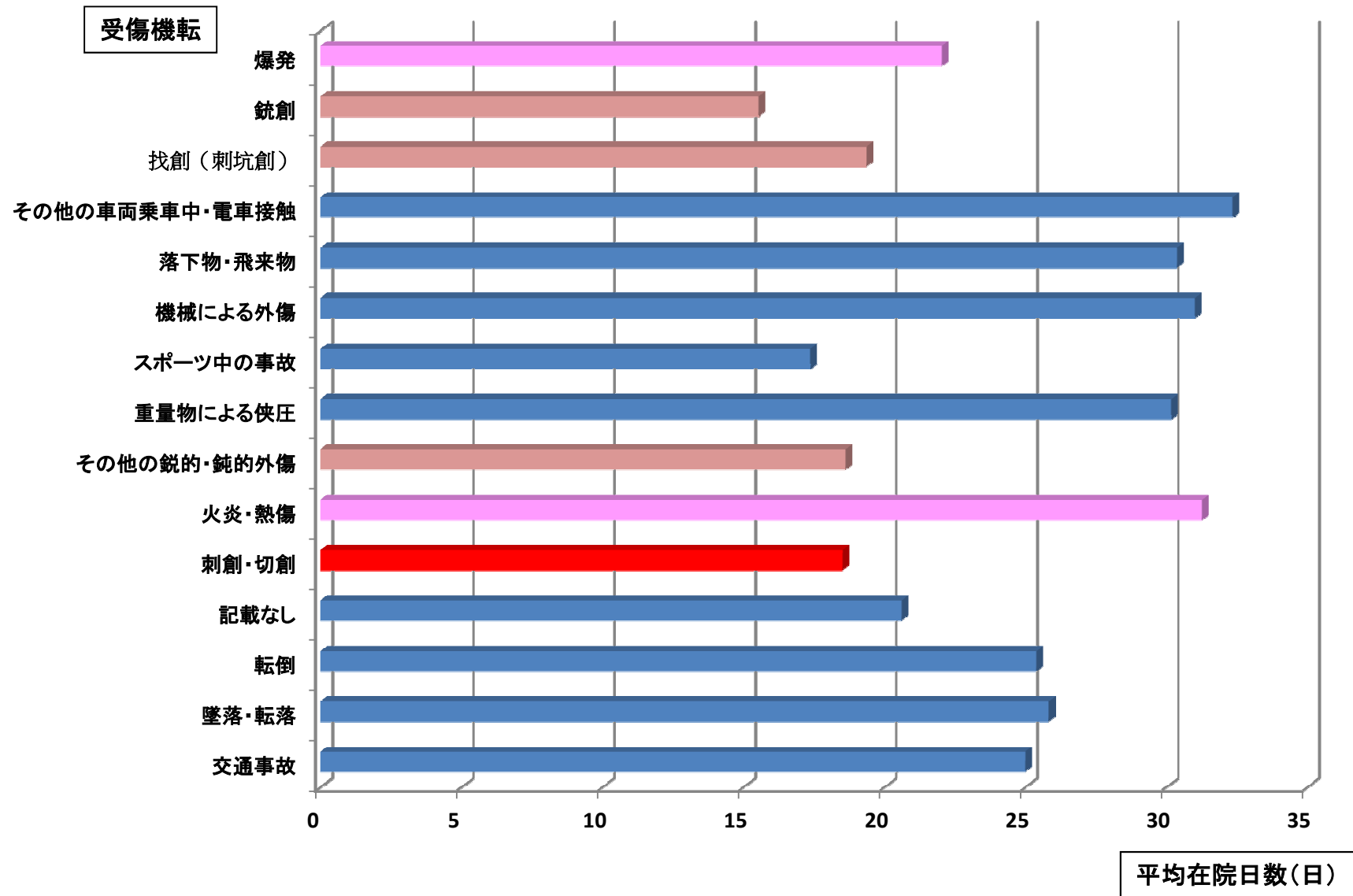


図13 受傷機転別の平均入院日数 n = 49,155

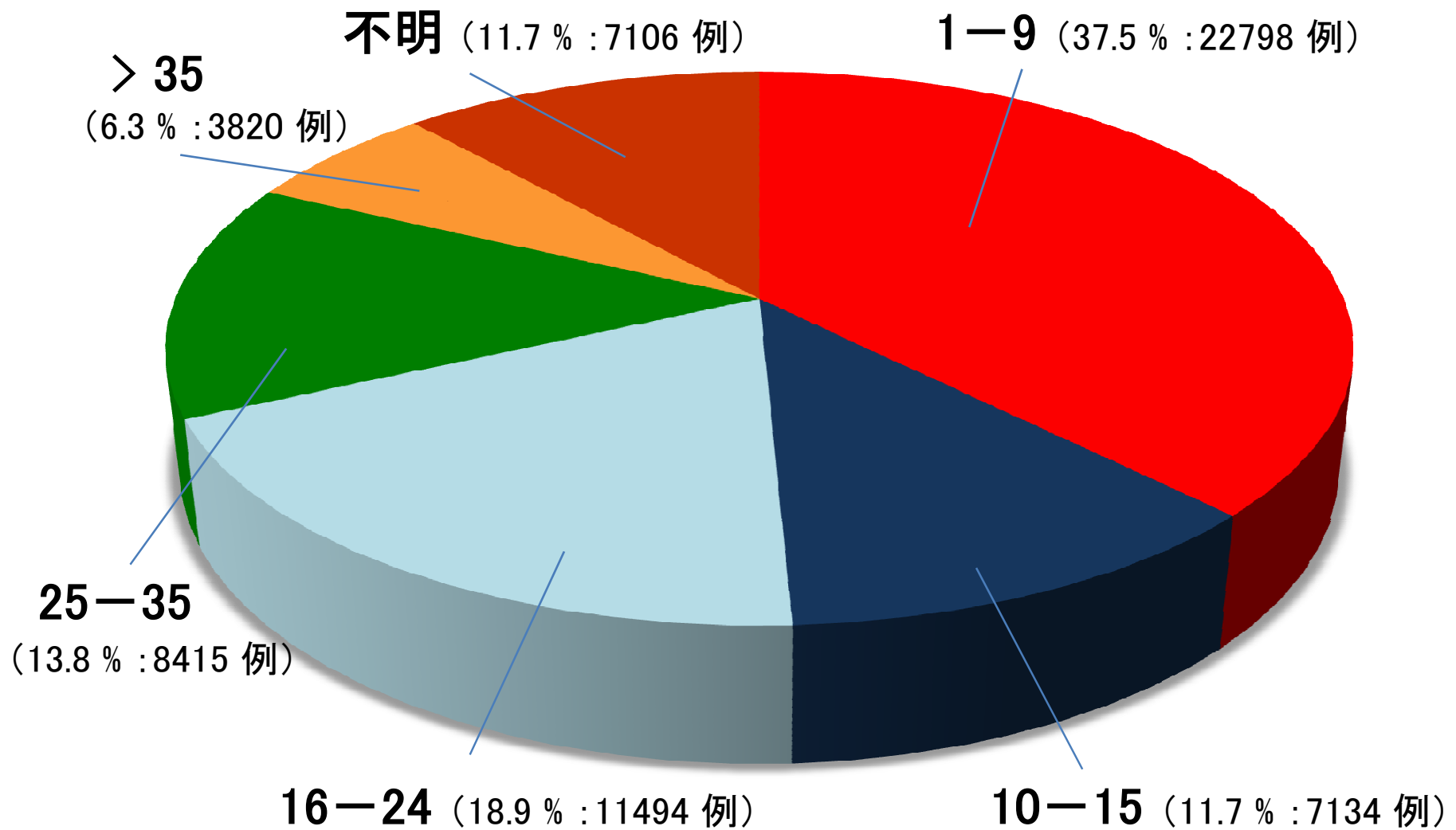


図14 ISSカテゴリ別の症例数と割合

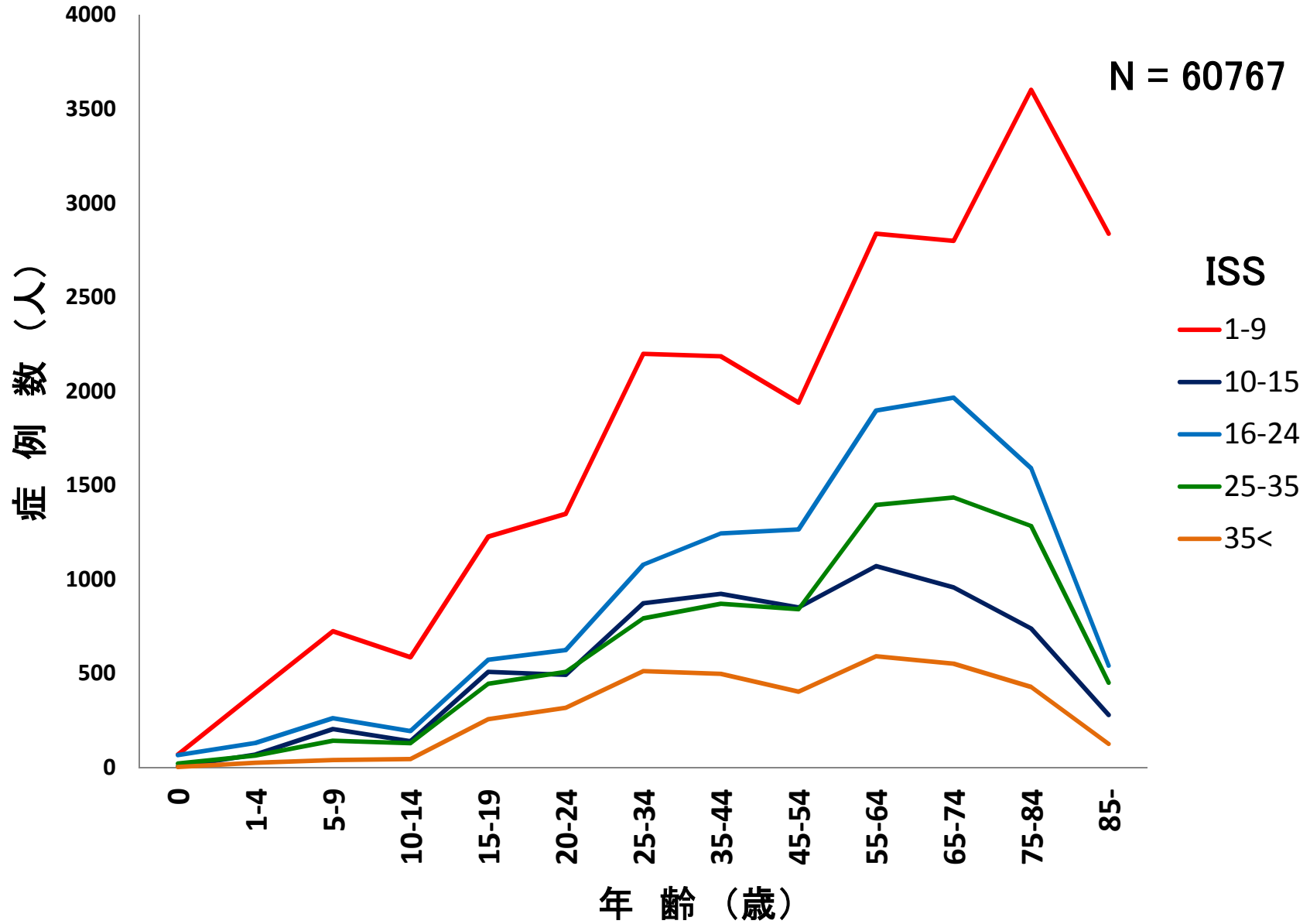


図15 ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

ISS \ 年齢	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-9	69	398	725	586	1228	1348	2199	2186	1940	2837	2799	3603	2837	43	22798
10-15	5	69	204	140	509	493	873	923	851	1071	957	739	279	21	7134
16-24	66	131	262	194	573	625	1079	1245	1266	1897	1966	1591	542	57	11494
25-35	22	63	142	129	445	509	793	870	842	1396	1435	1284	451	34	8415
35<	3	25	40	45	257	317	512	498	403	591	552	428	125	24	3820
不明	49	109	144	127	379	434	746	770	721	975	1054	930	531	137	7106
計	214	795	1517	1221	3391	3726	6202	6492	6023	8767	8763	8575	4765	316	60767

表15 ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

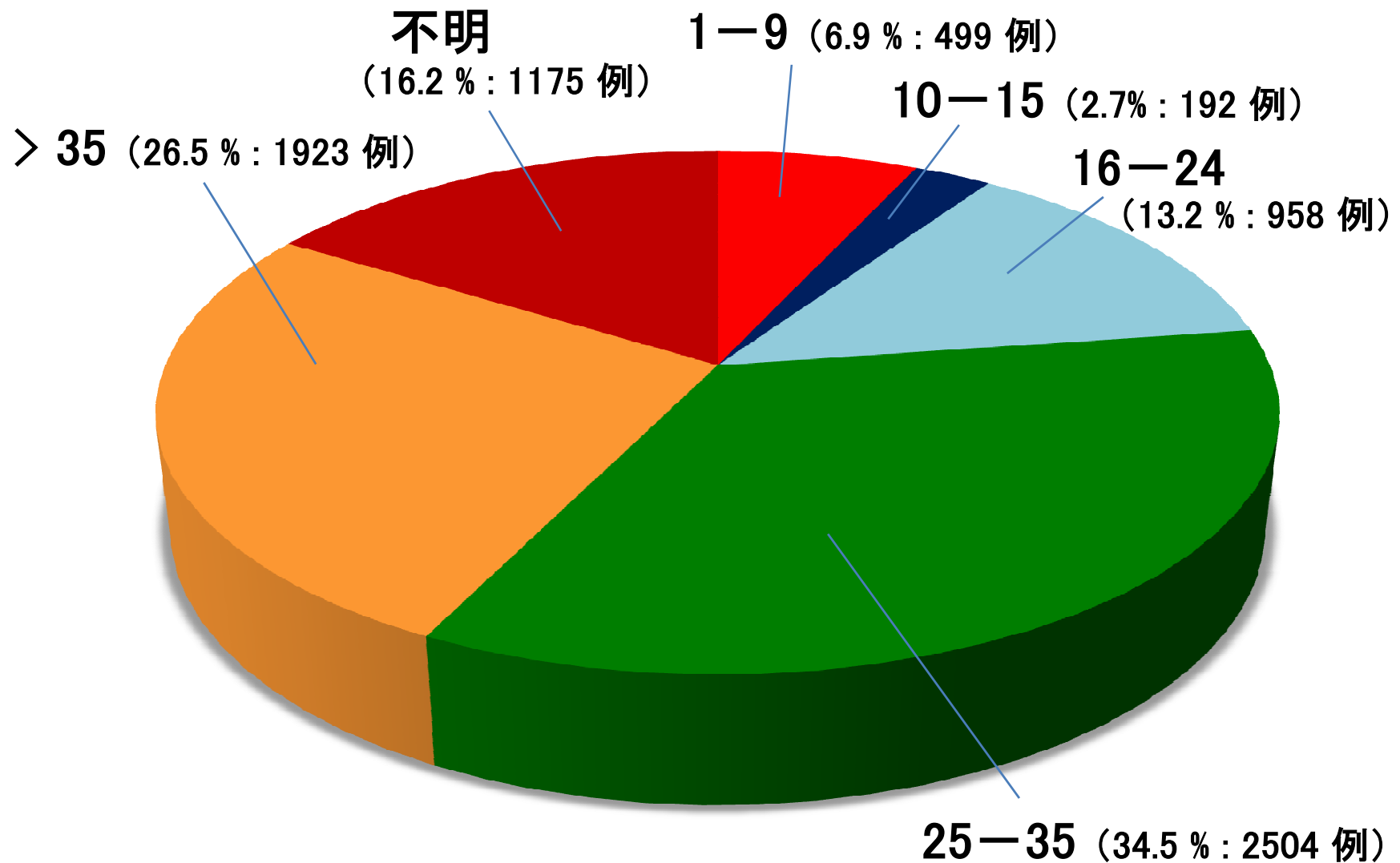


図16A ISSカテゴリー一別の死亡数の割合

N = 7251

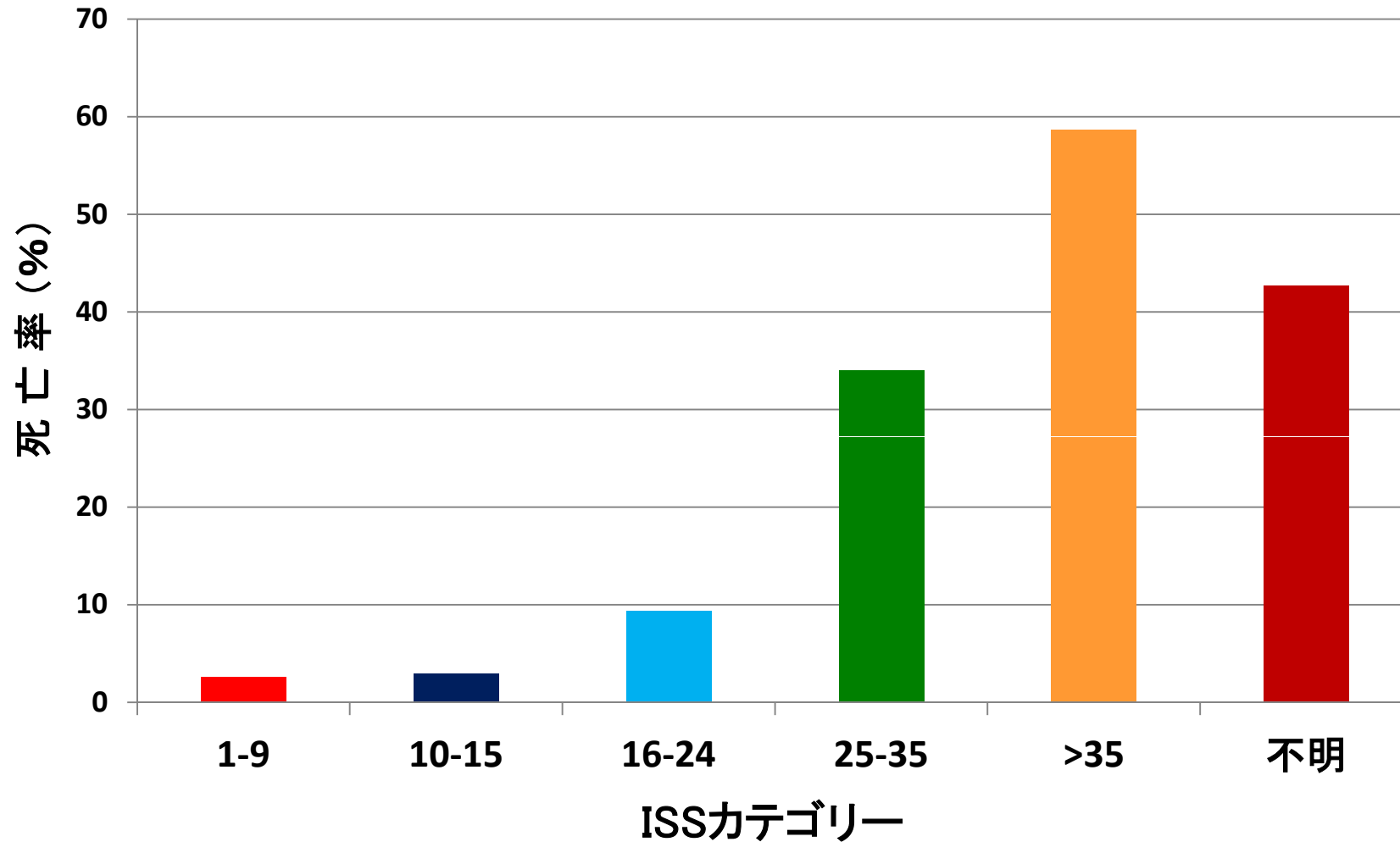


図16B ISSカテゴリー別の死亡率

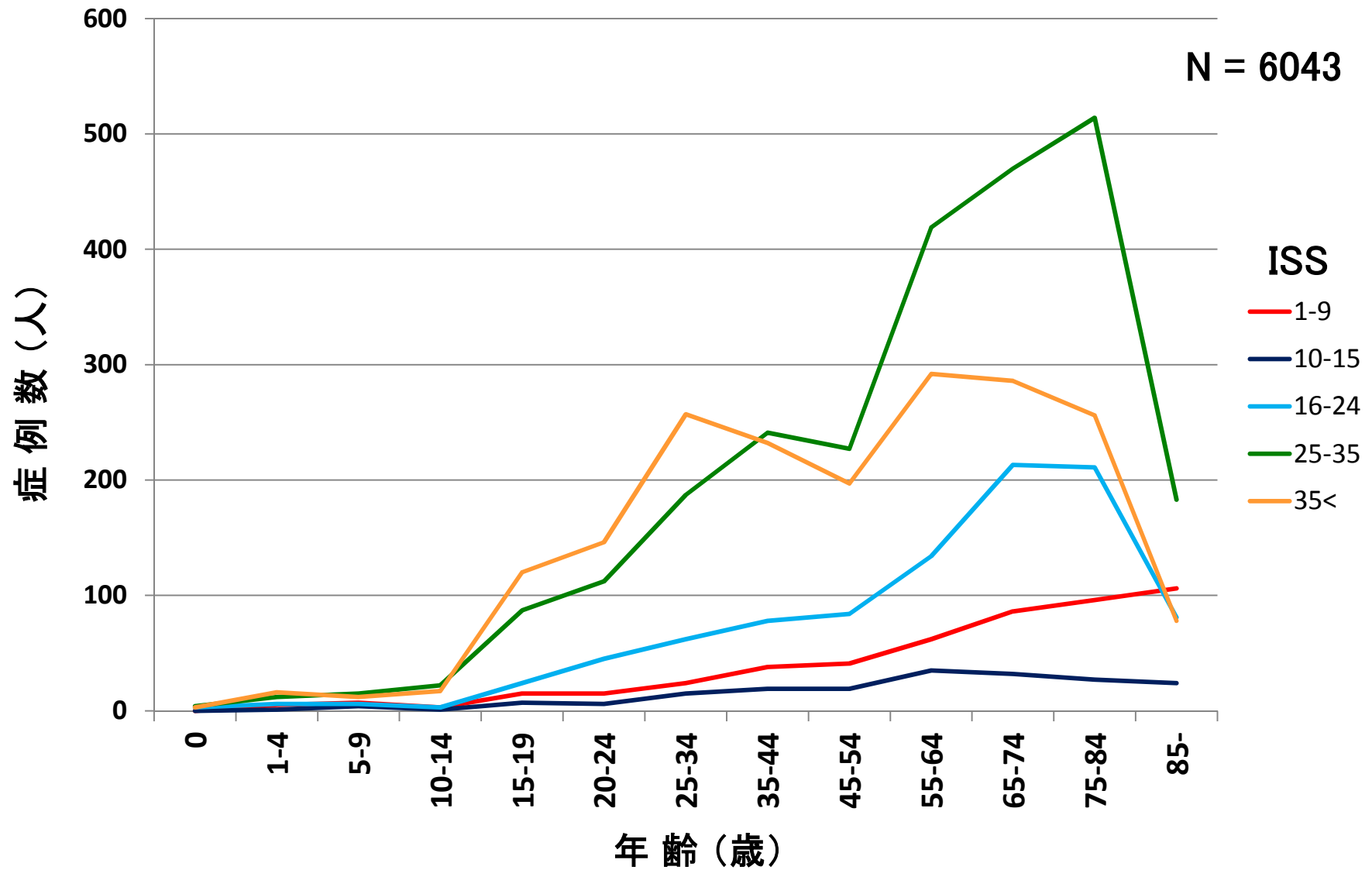


図17 ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-9	0	5	7	3	15	15	24	38	41	62	86	96	106	1	499
10-15	0	1	4	1	7	6	15	19	19	35	32	27	24	2	192
16-24	3	6	6	3	24	45	62	78	84	134	213	211	81	8	958
25-35	4	12	15	22	87	112	187	241	227	419	470	514	183	11	2504
35<	3	16	12	17	120	146	257	232	197	292	286	256	78	11	1923
不明	11	26	36	26	63	78	127	128	127	153	196	142	56	6	1175
計	21	66	80	72	316	402	672	736	695	1095	1283	1246	528	39	7251

表17 ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

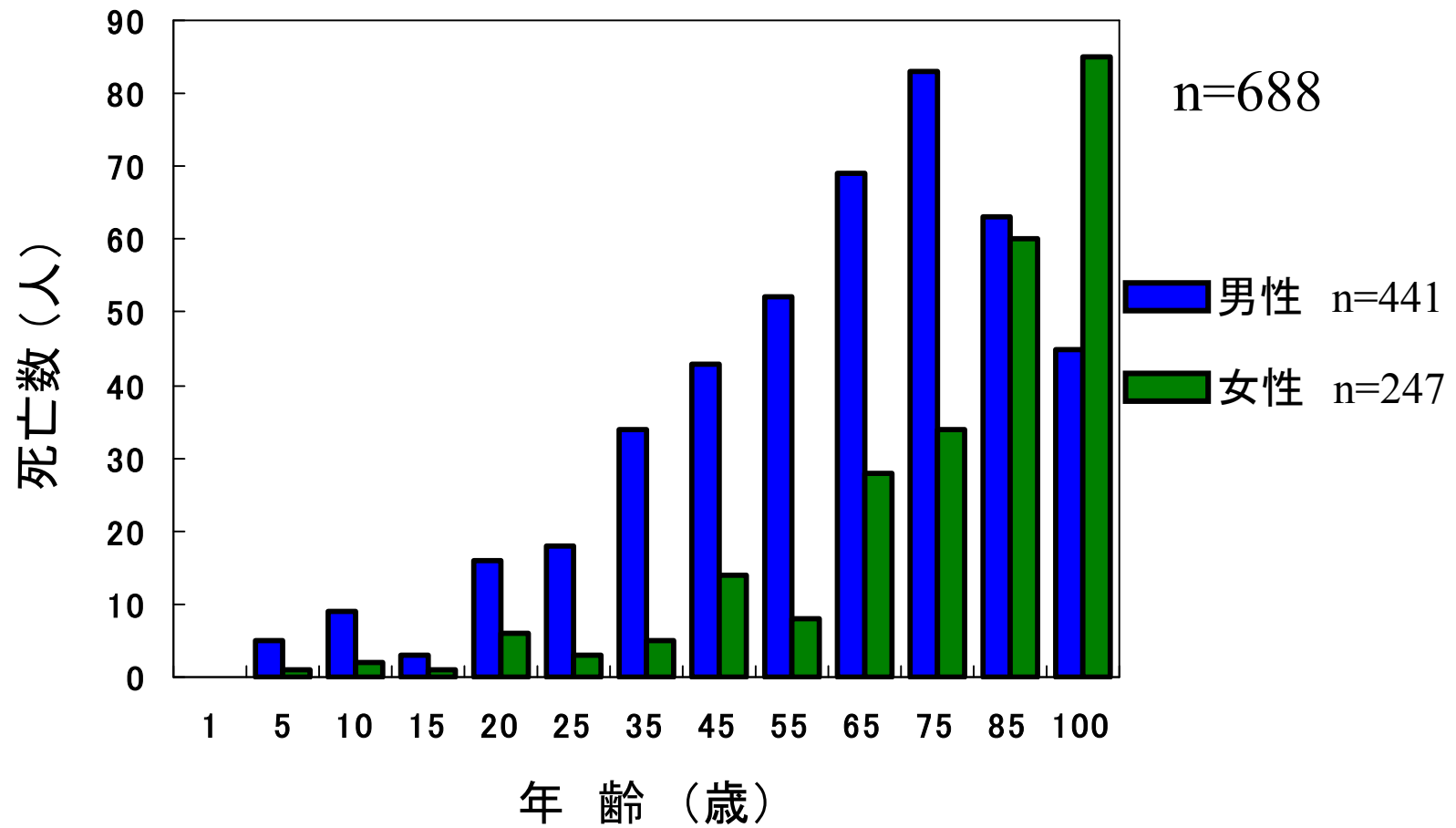


図18 ISS 15以下の死亡数の性別年齢分布

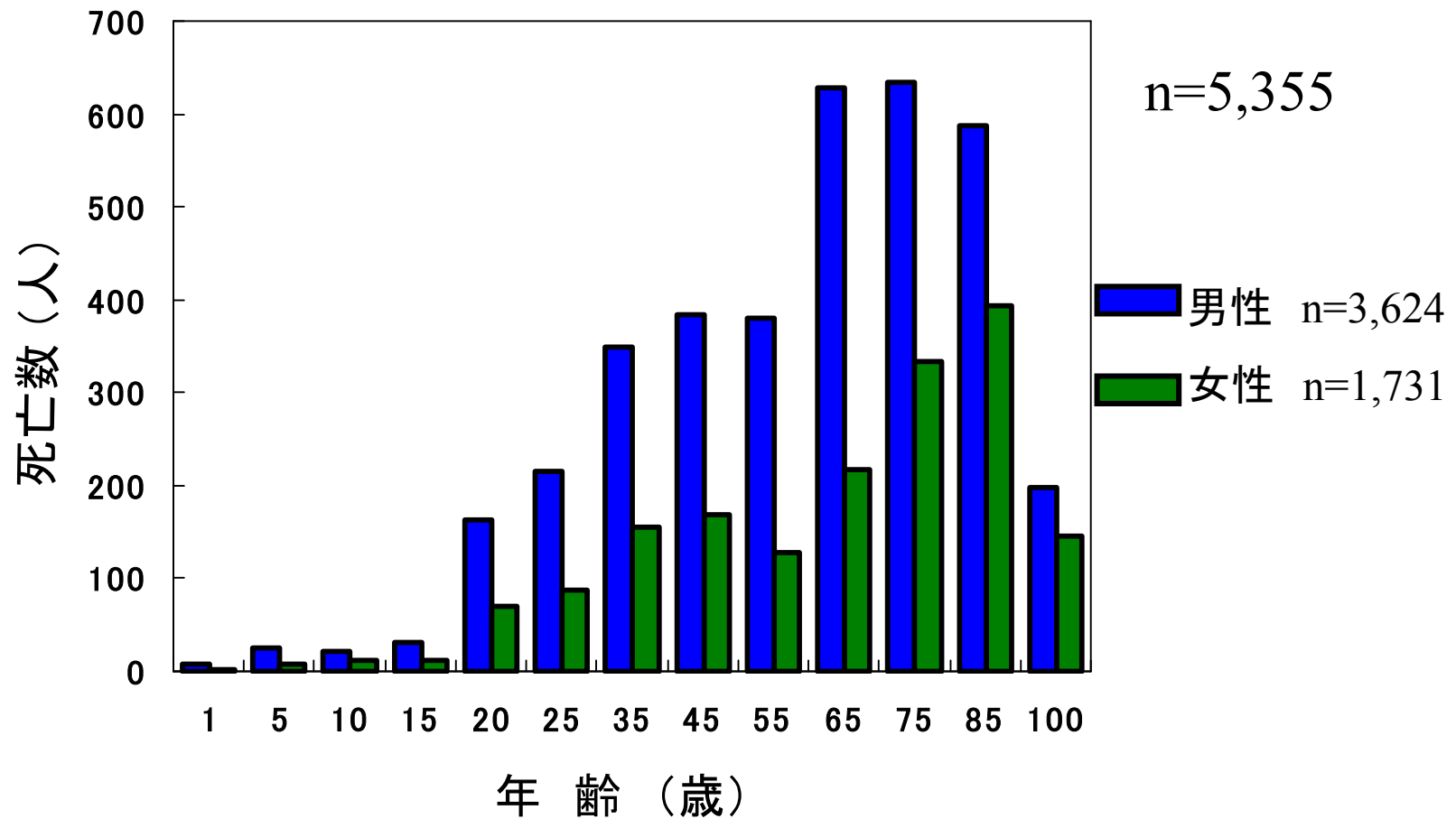


図19 ISS 16以上の死亡数の性別年齢分布

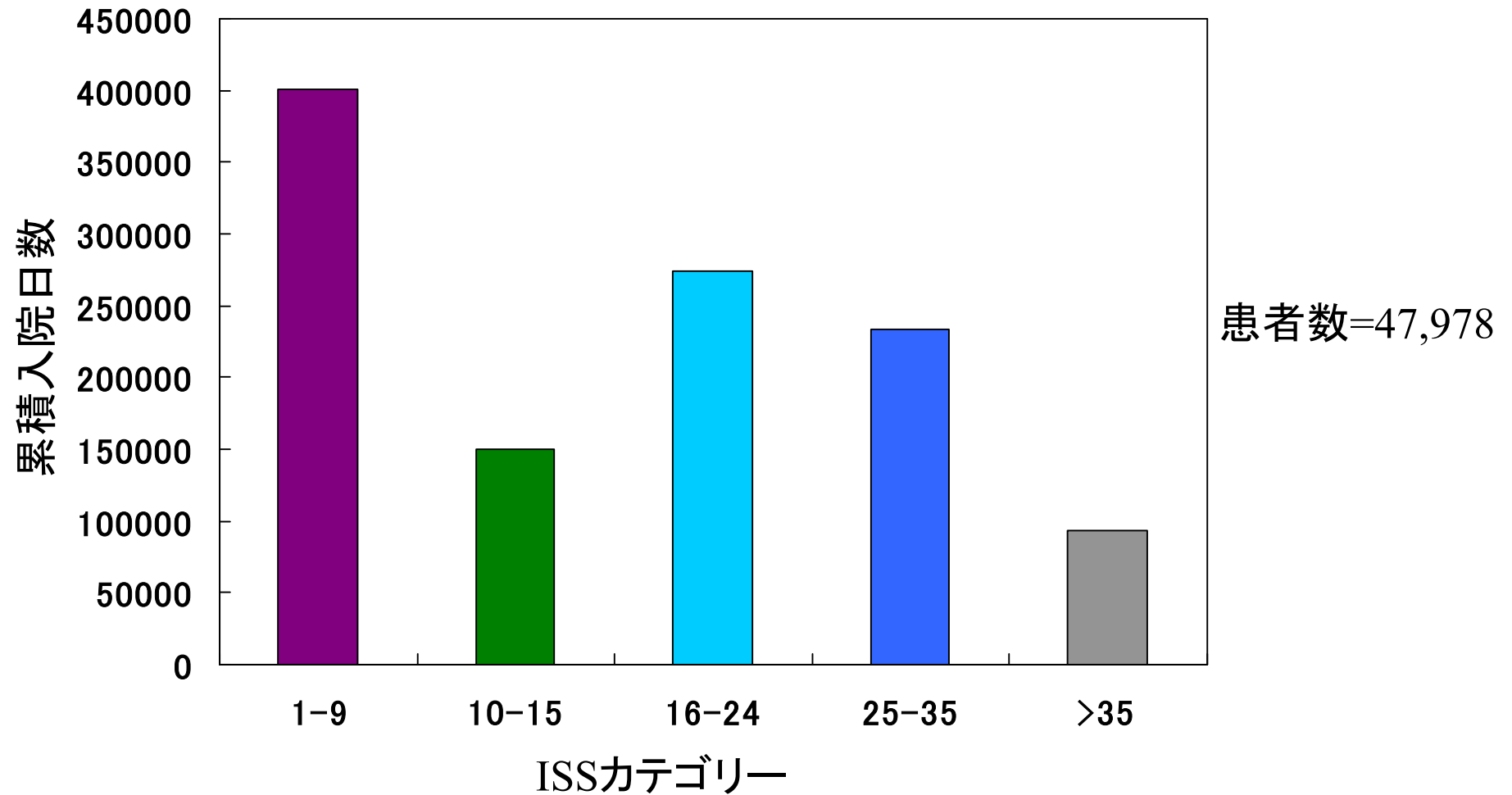


図20A ISS カテゴリー別の累積入院日数

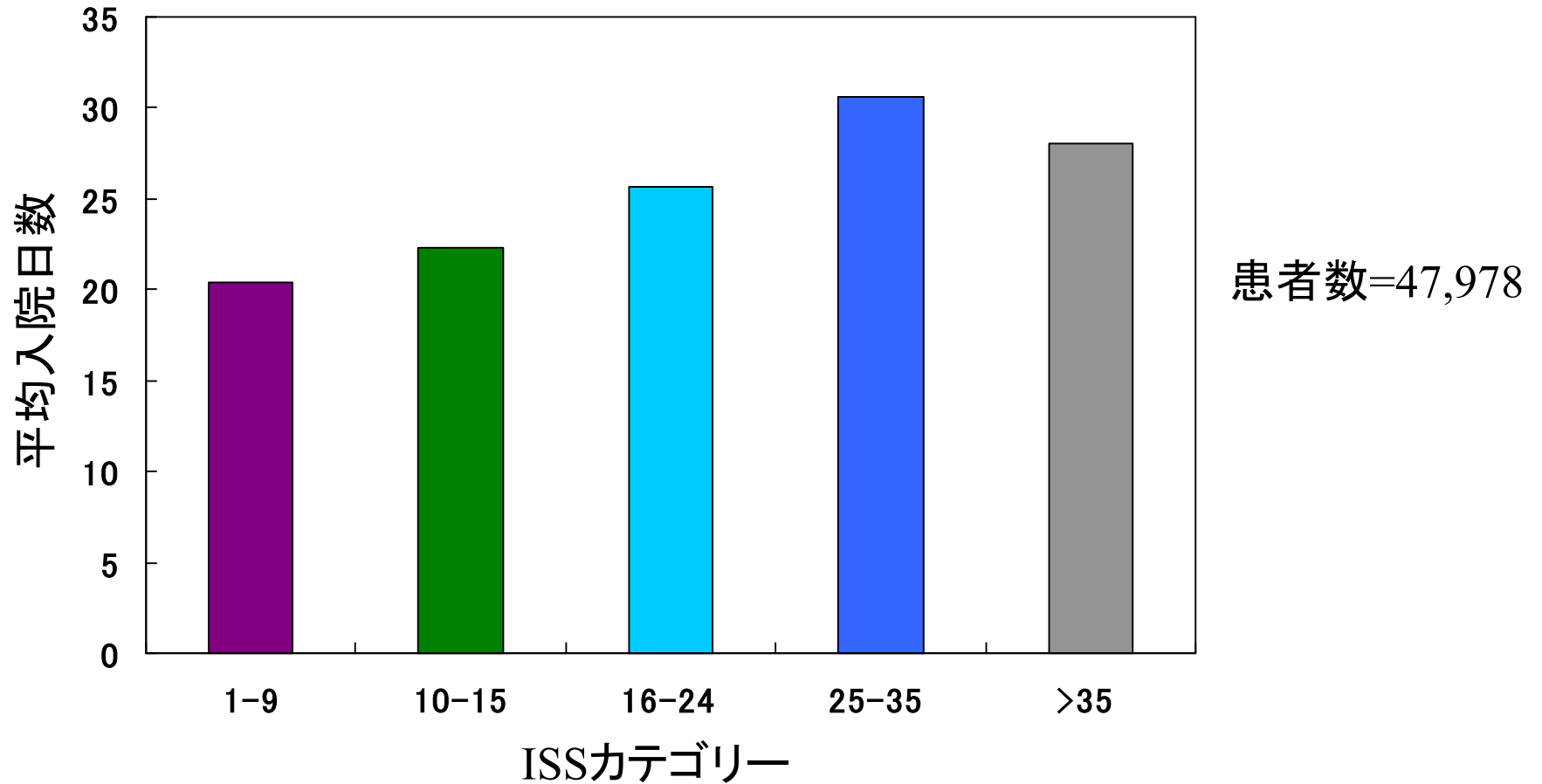


図20B ISS カテゴリー別の平均入院日数

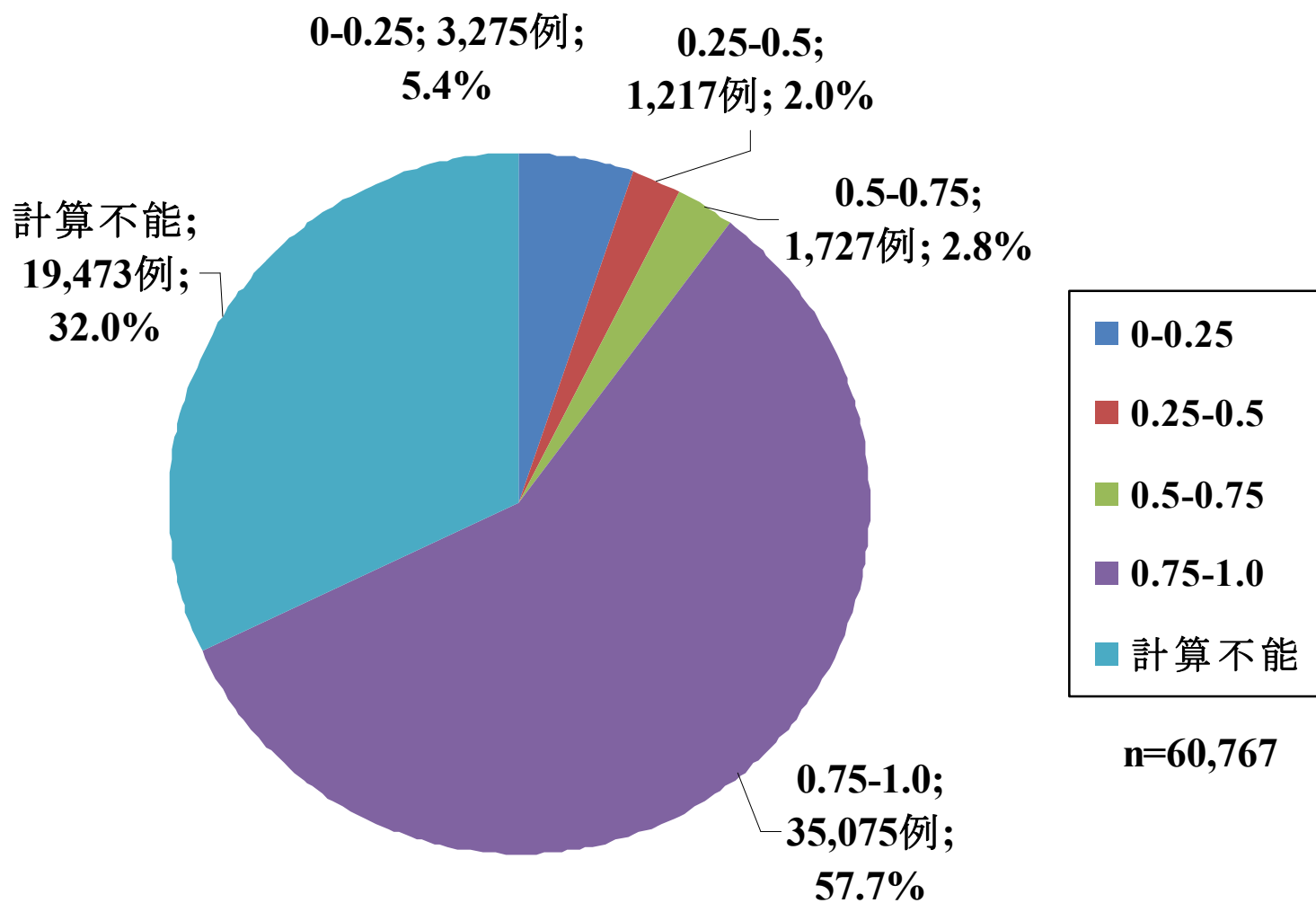


図 21 Probability of survival (Ps) カテゴリー別の症例数の割合

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

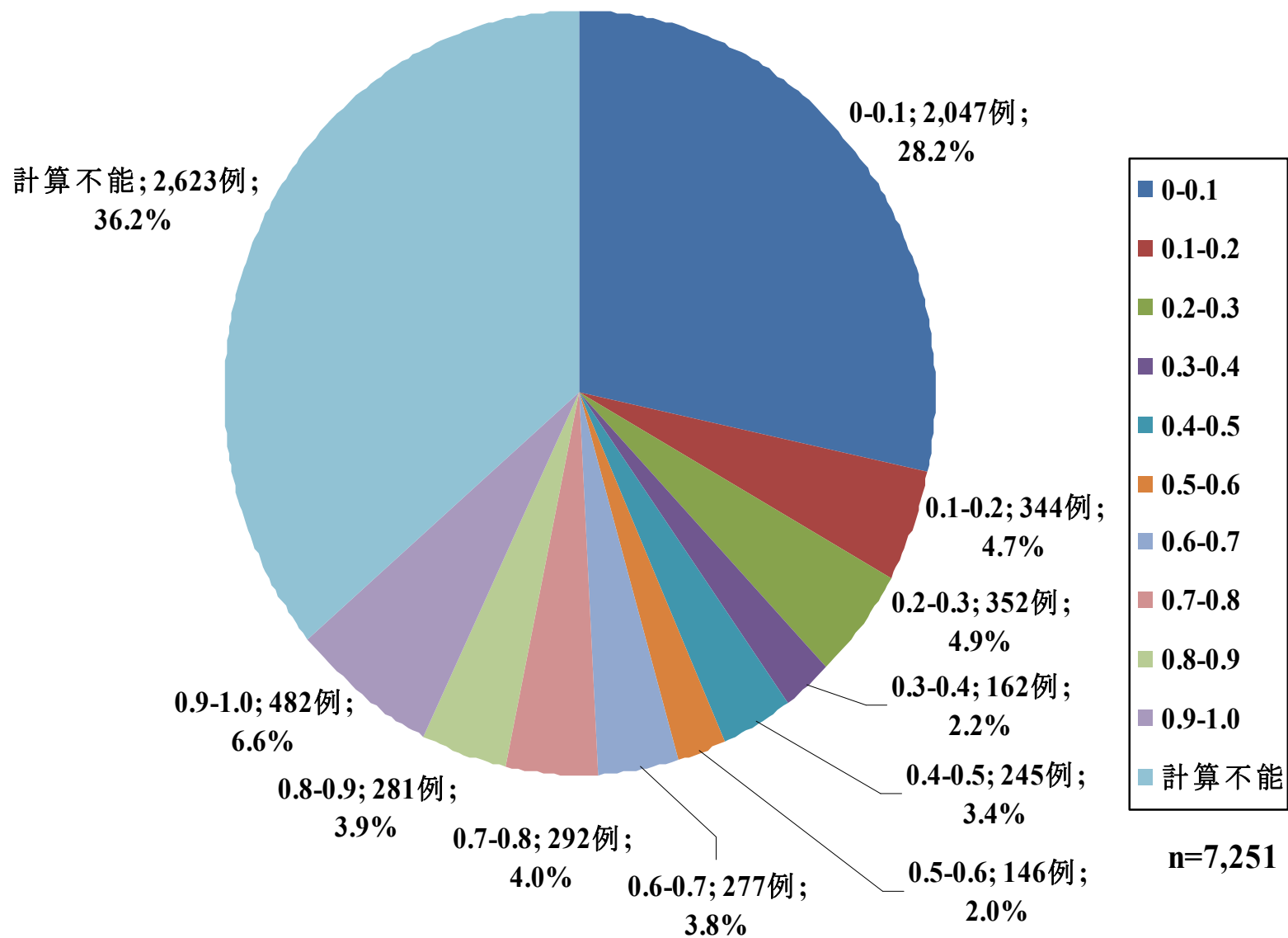


図 22-A Probability of survival (Ps)カテゴリー別の死亡数の割合

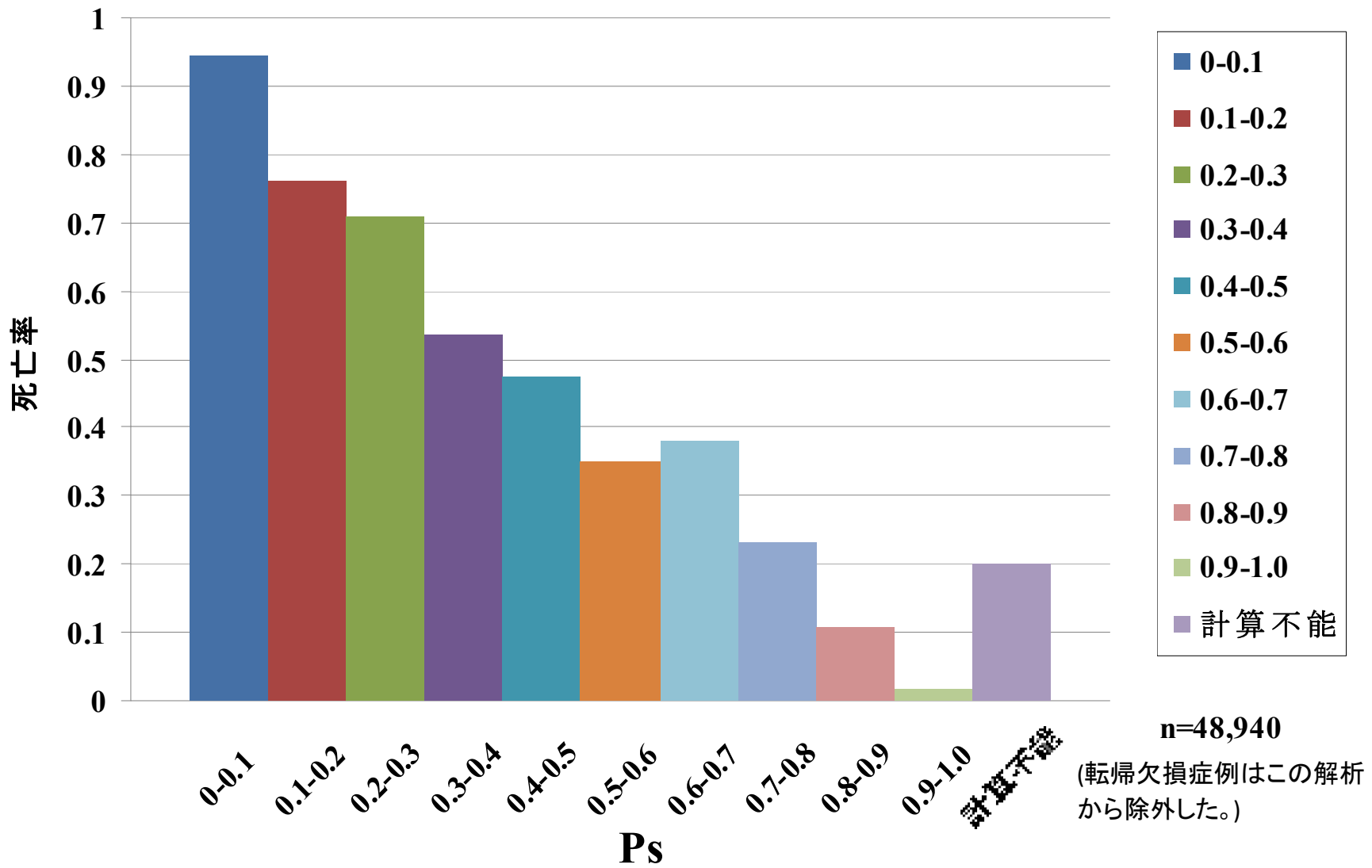


図22-B 各 Probability of survival (Ps) カテゴリーの死亡率

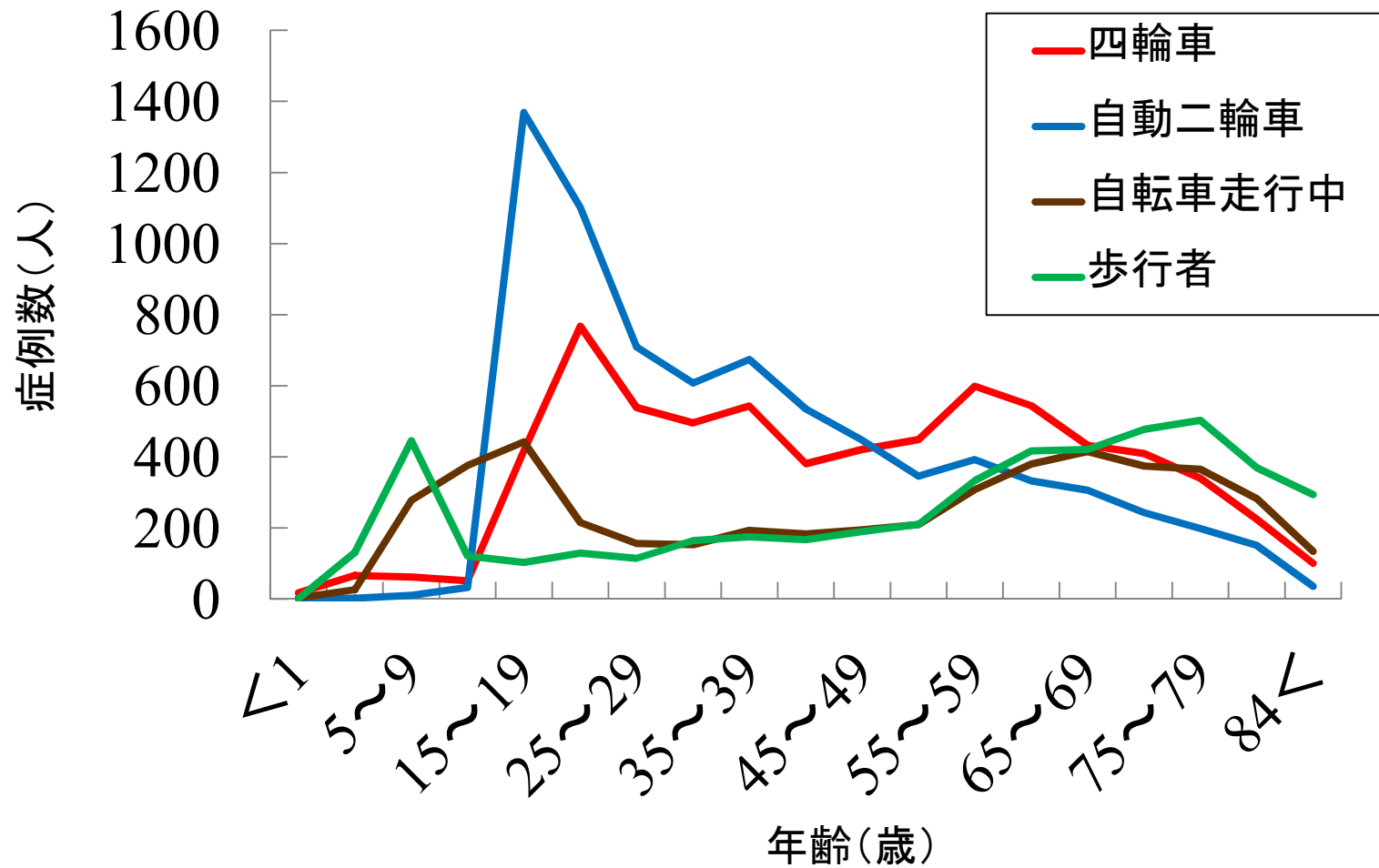


図23 交通事故患者における種類別および年齢別の患者数

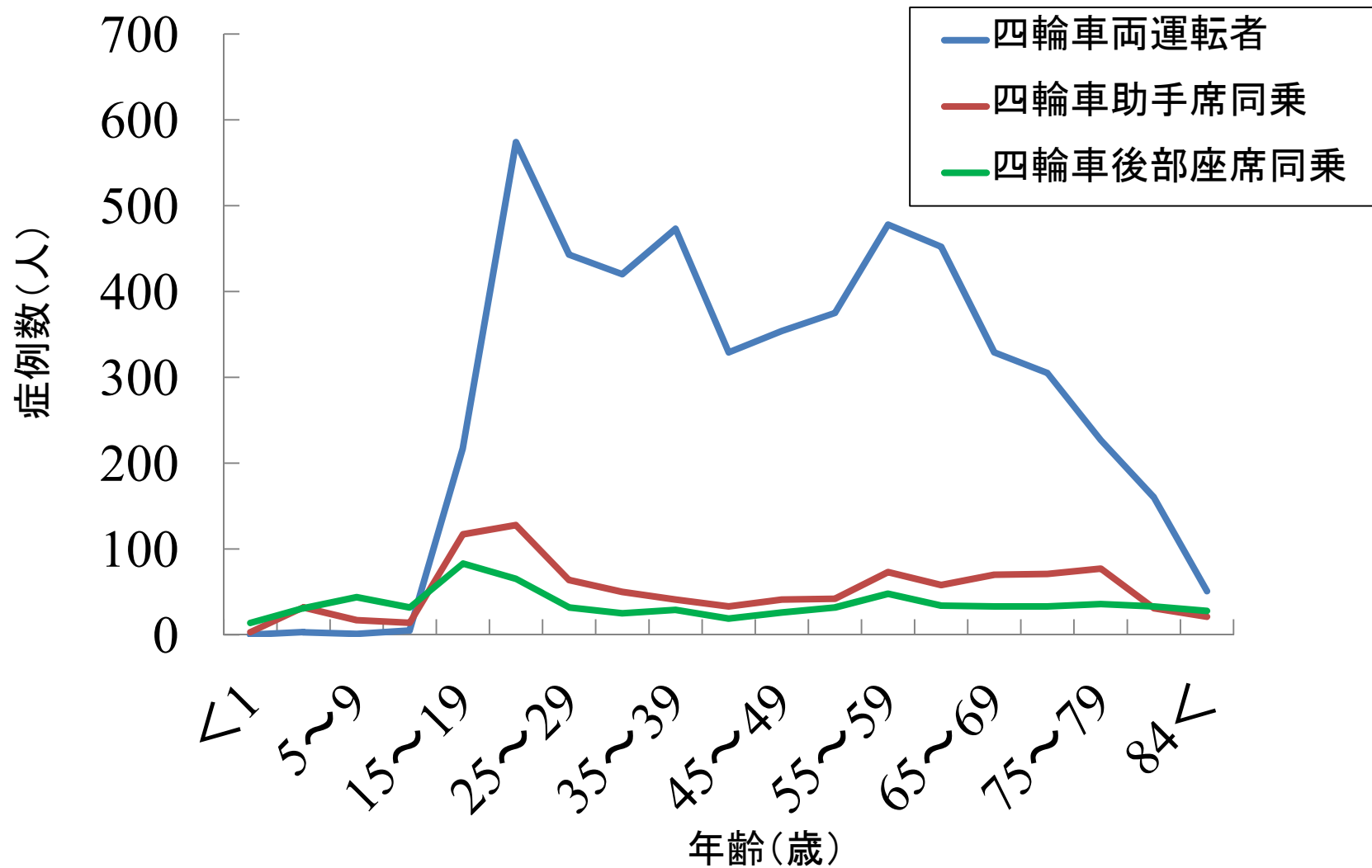


図24 四輪車事故症例数の運転者・乗客別年齢分布

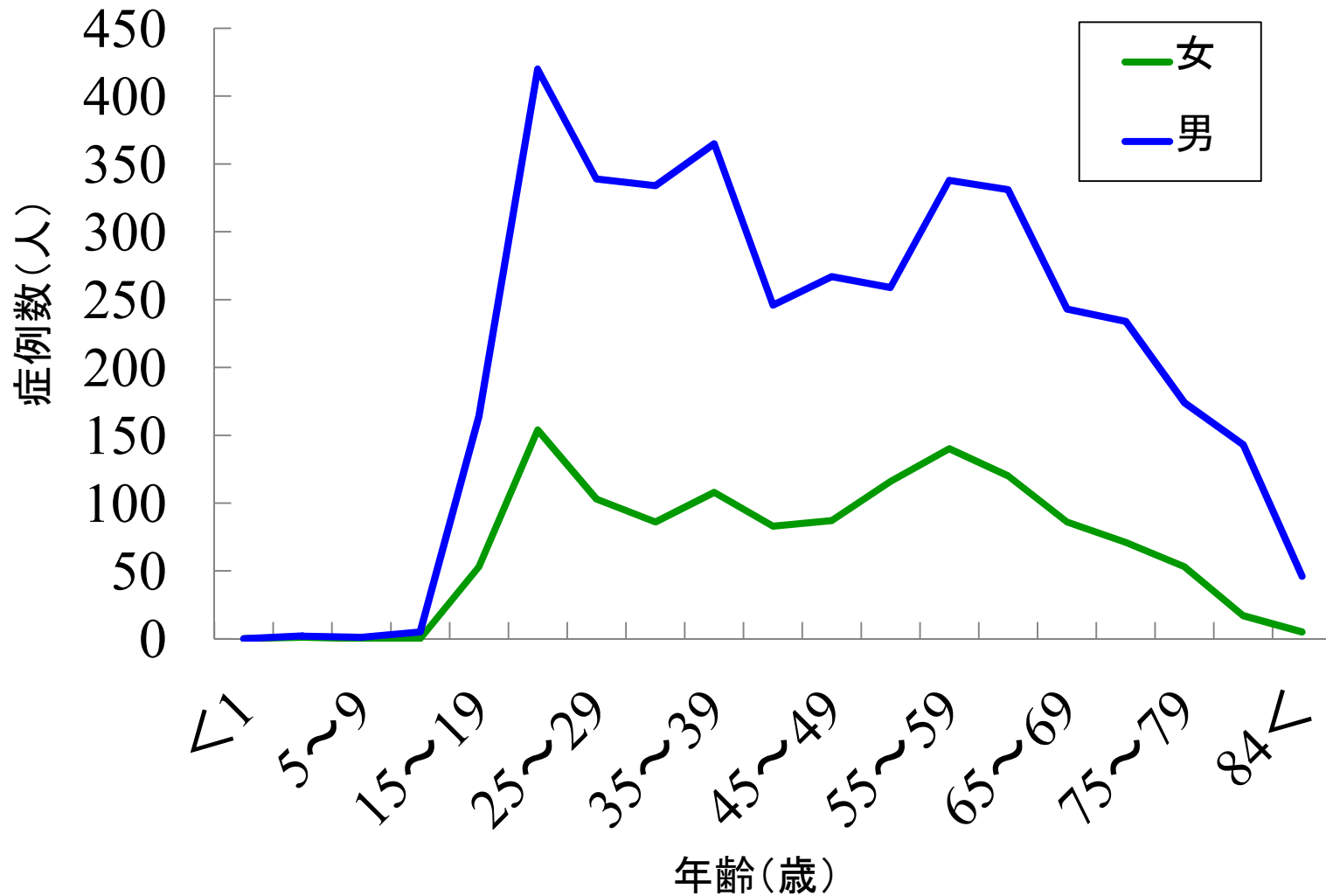


図25 四輪者事故(運転者)症例数の性別年齢分布

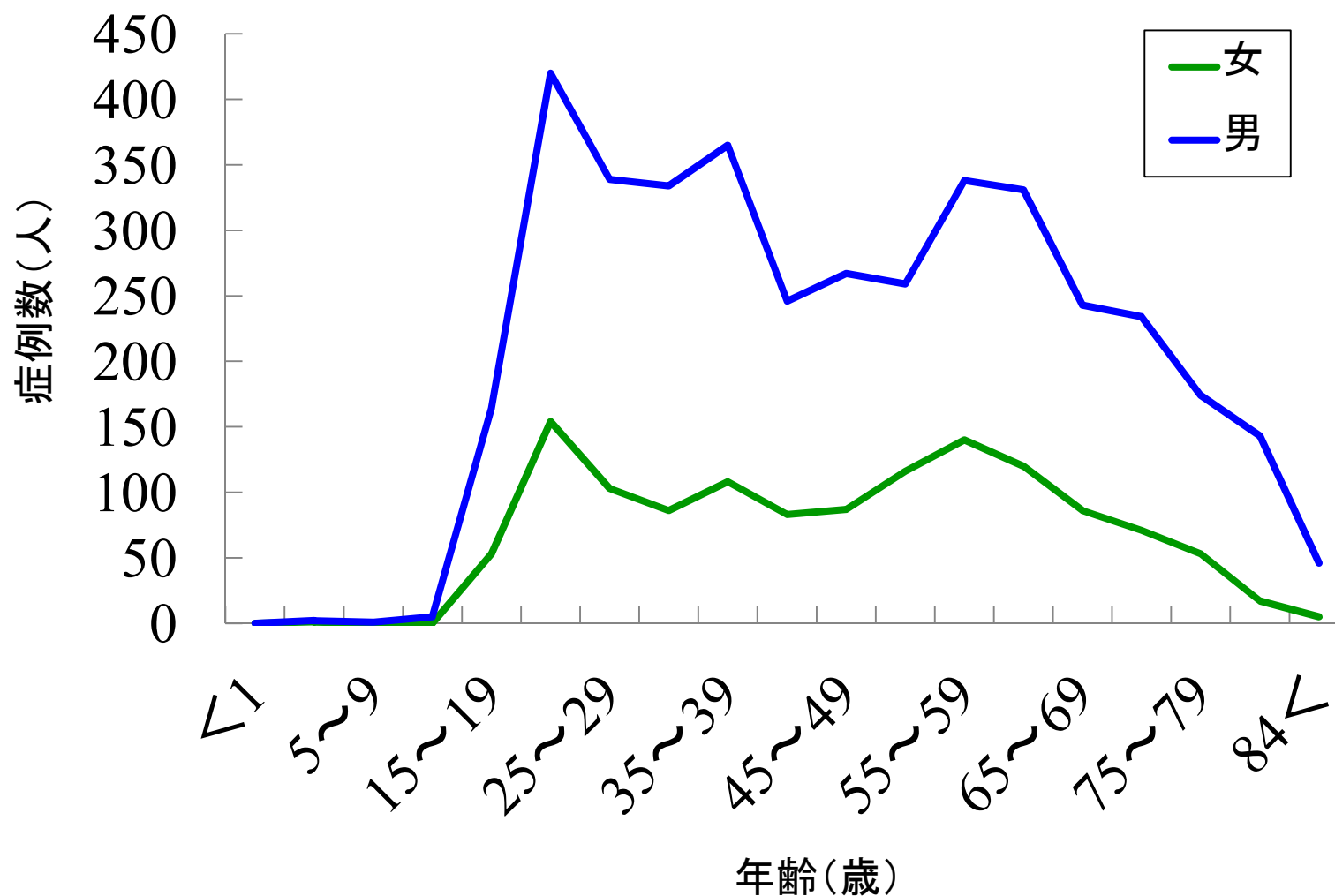


図26 四輪者事故(助手席)症例数の性別年齢分布

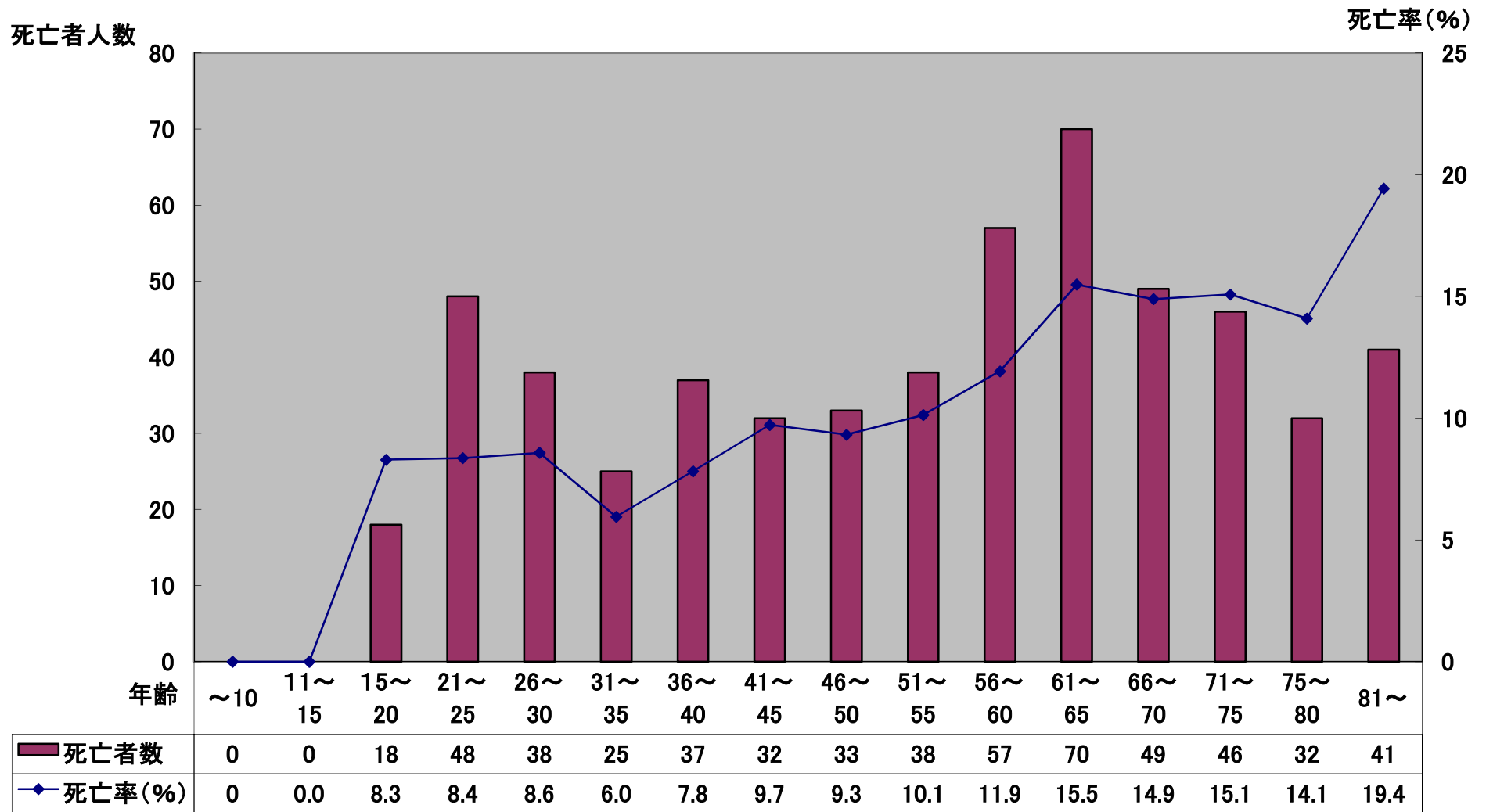


図27 四輪車における運転手の年齢別死亡者数および死亡率

死亡者人数

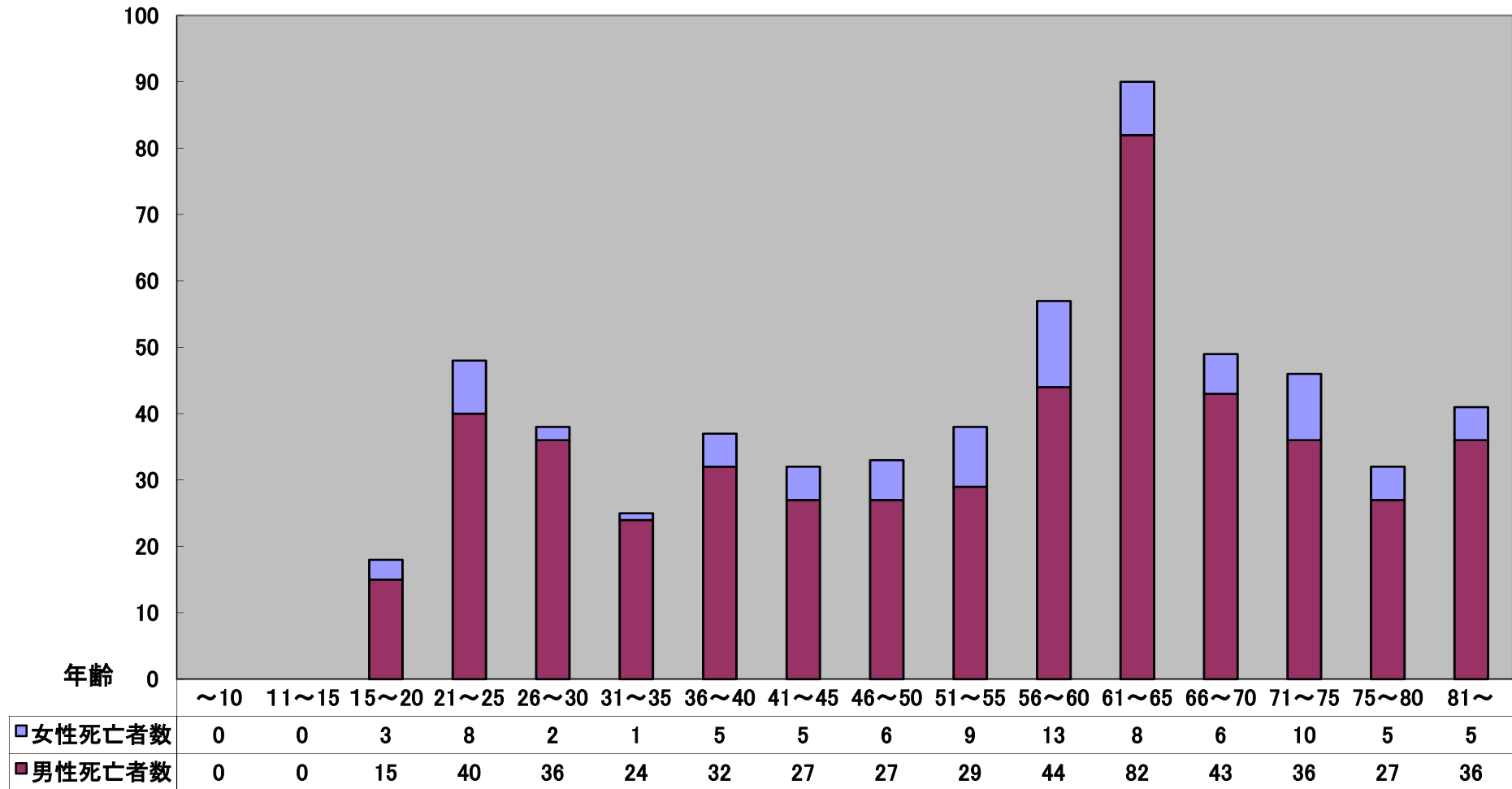


図28 性別および年齢別運転死亡者数

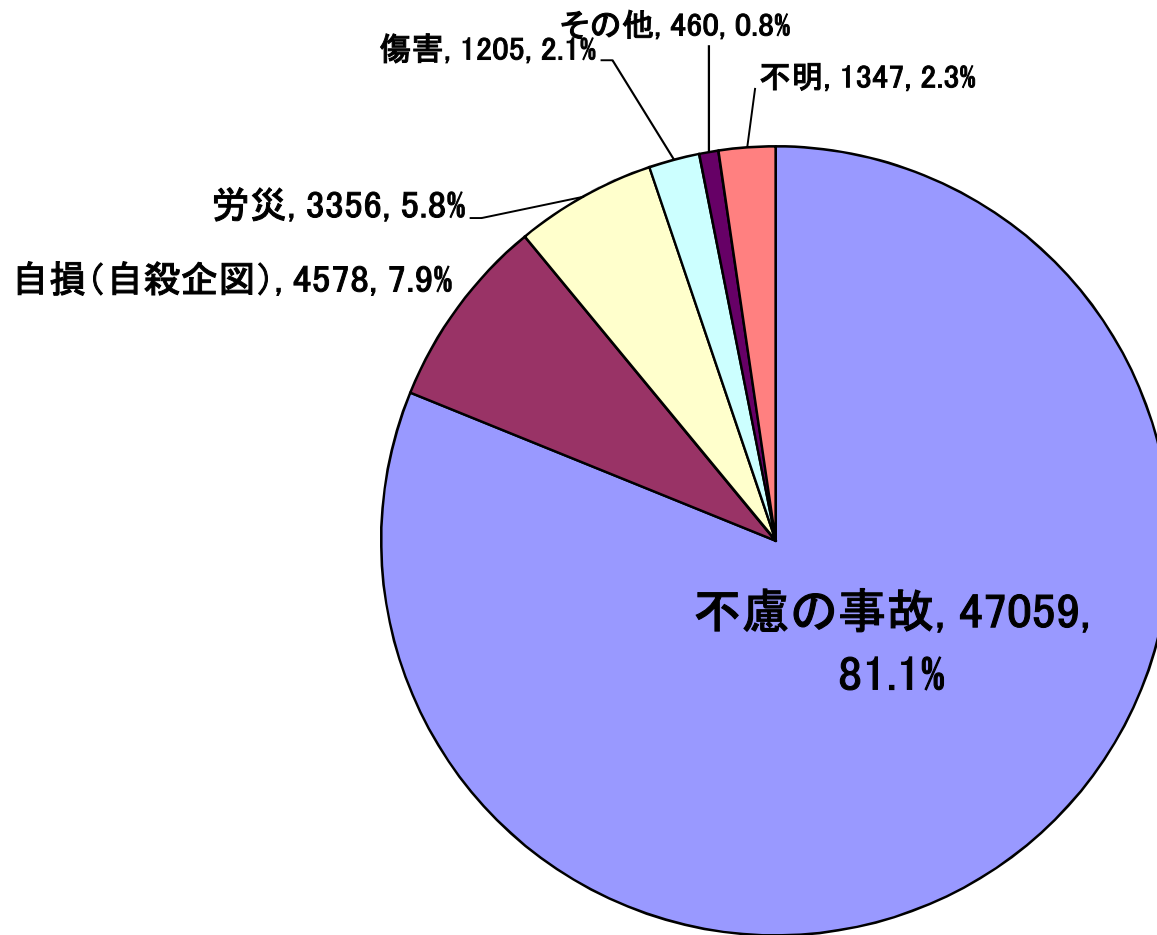


図29 外傷原因別の登録患者比率

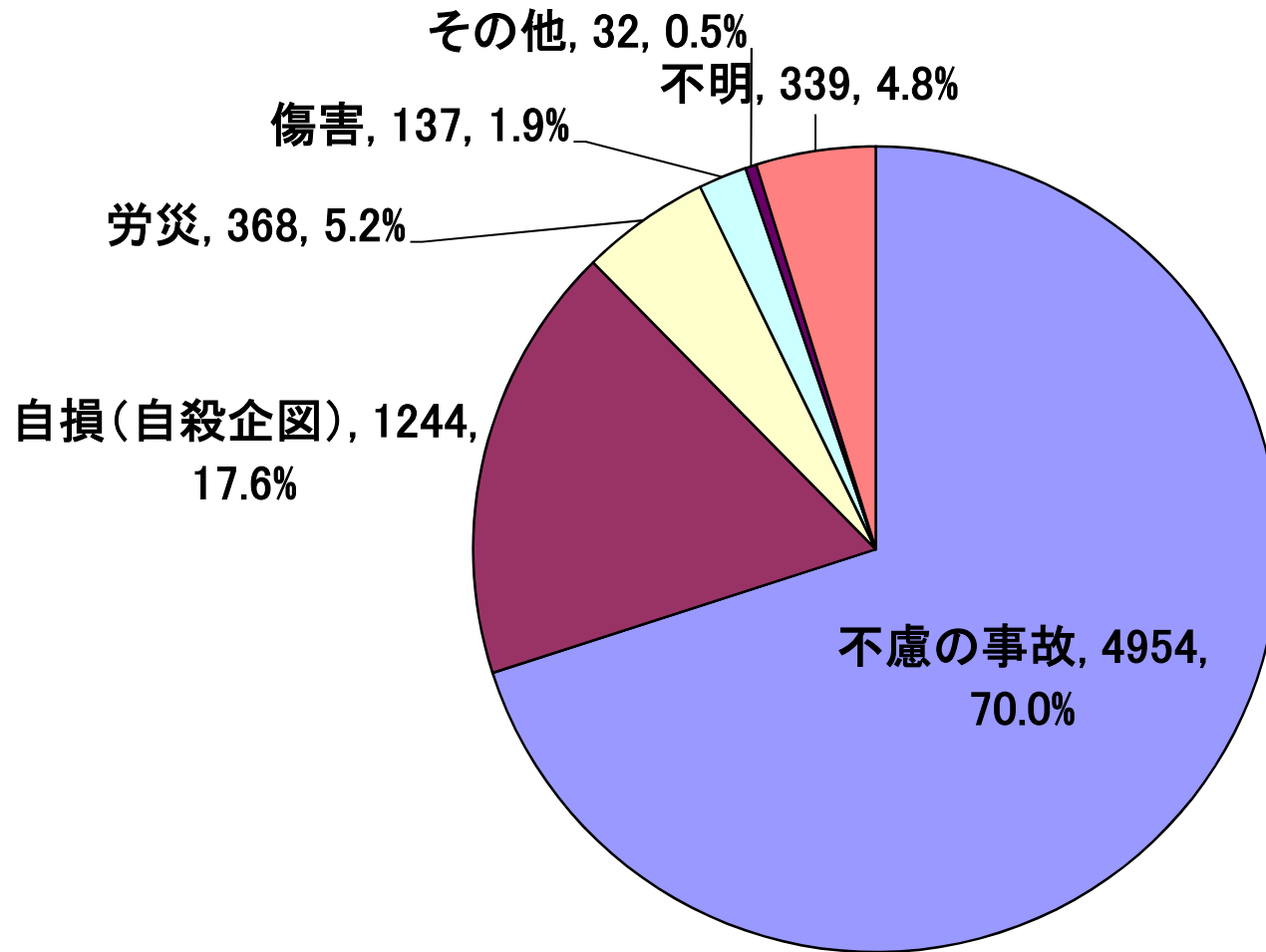
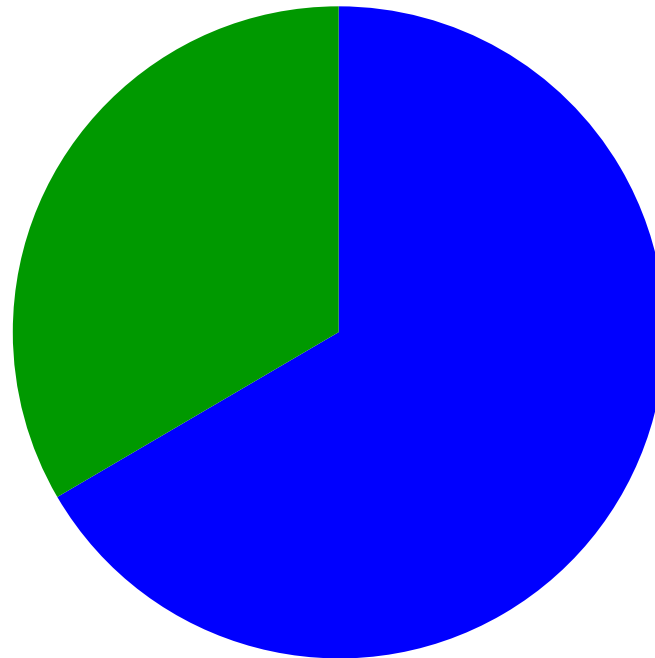


図30 外傷原因別の死亡者比率

女性19603人
33.4%



男性39048人
66.6%

年齢不詳を除く。労働災害に関連した事故は含む。

図31 不慮の事故者における性別比率

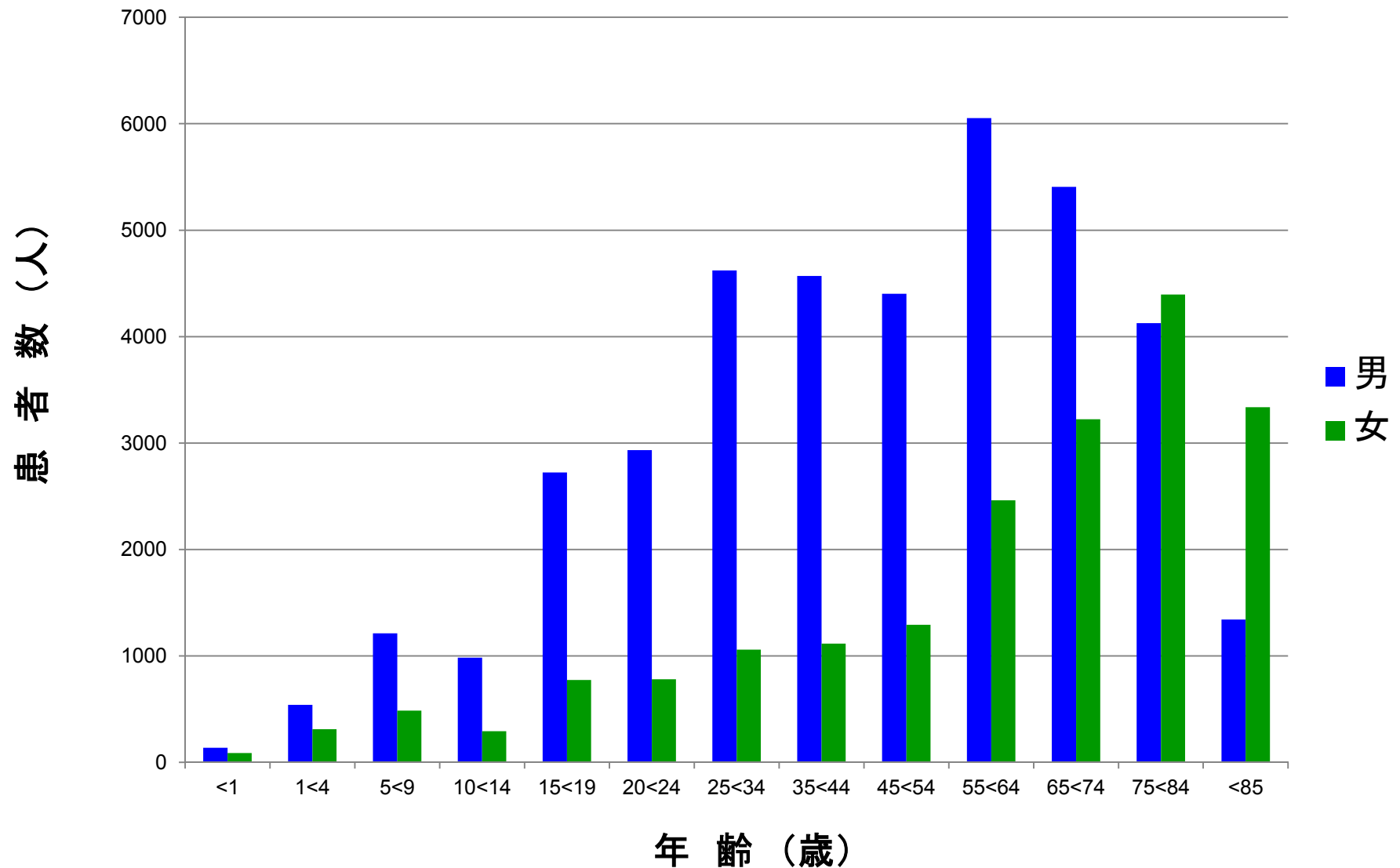


図32 不慮の事故者数の性別年齢分布

	男	女	計
<1	135	87	222
1<4	539	311	850
5<9	1212	485	1697
10<14	982	291	1273
15<19	2723	772	3495
20<24	2932	779	3711
25<34	4621	1057	5678
35<44	4570	1115	5685
45<54	4403	1291	5694
55<64	6054	2461	8515
65<74	5407	3224	8631
75<84	4126	4394	8520
<85	1342	3336	4678
合計	39046	19603	58649

表32 不慮の事故者数の性別年齢分布

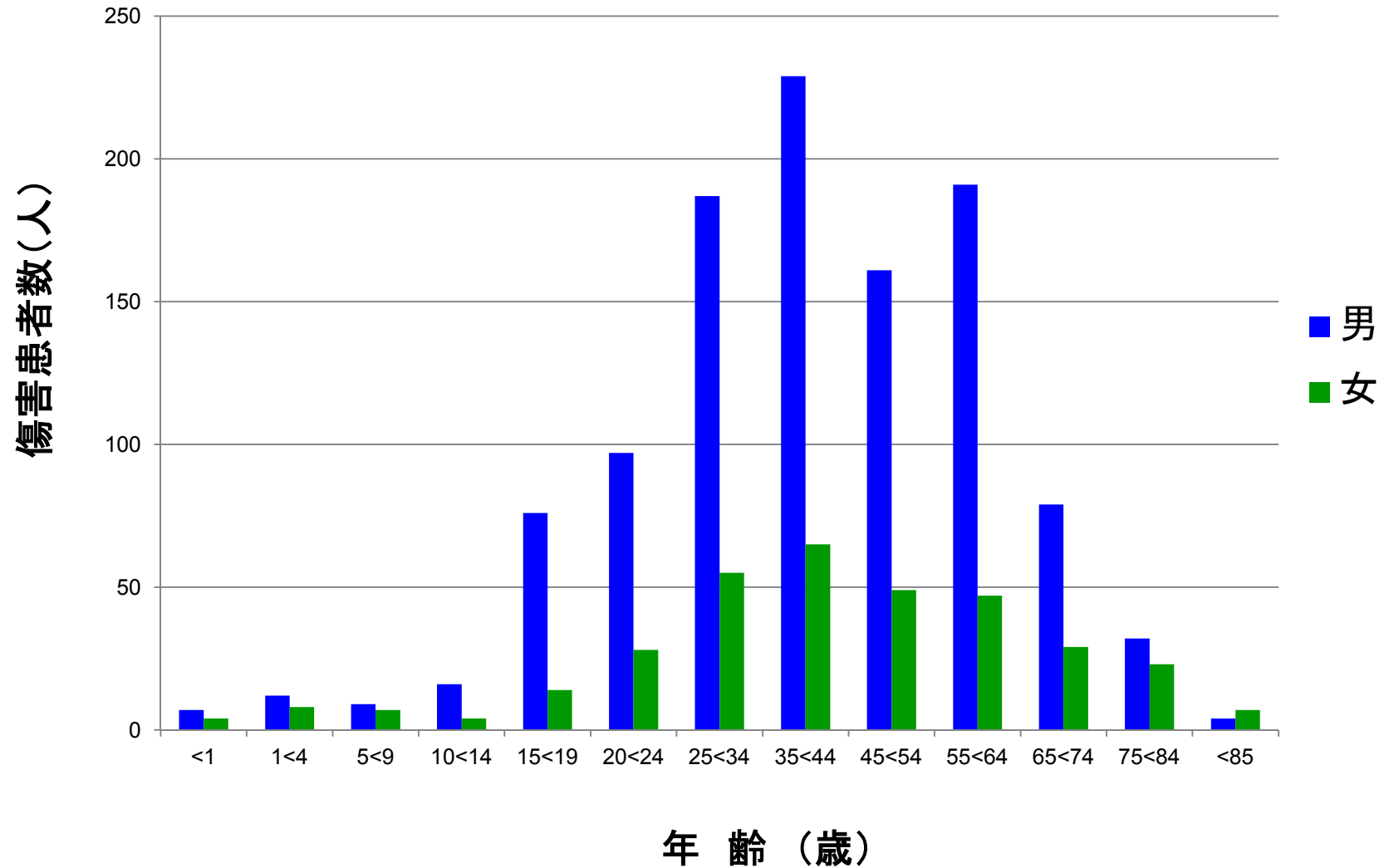


図33 性別及び年齢別の傷害患者数

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

	男	女	計
<1	7	4	11
1<4	12	8	20
5<9	9	7	16
10<14	16	4	20
15<19	76	14	90
20<24	97	28	125
25<34	187	55	242
35<44	229	65	294
45<54	161	49	210
55<64	191	47	238
65<74	79	29	108
75<84	32	23	55
<85	4	7	11
合計	1100	340	1440

表33 性別及び年齢別の傷害患者数

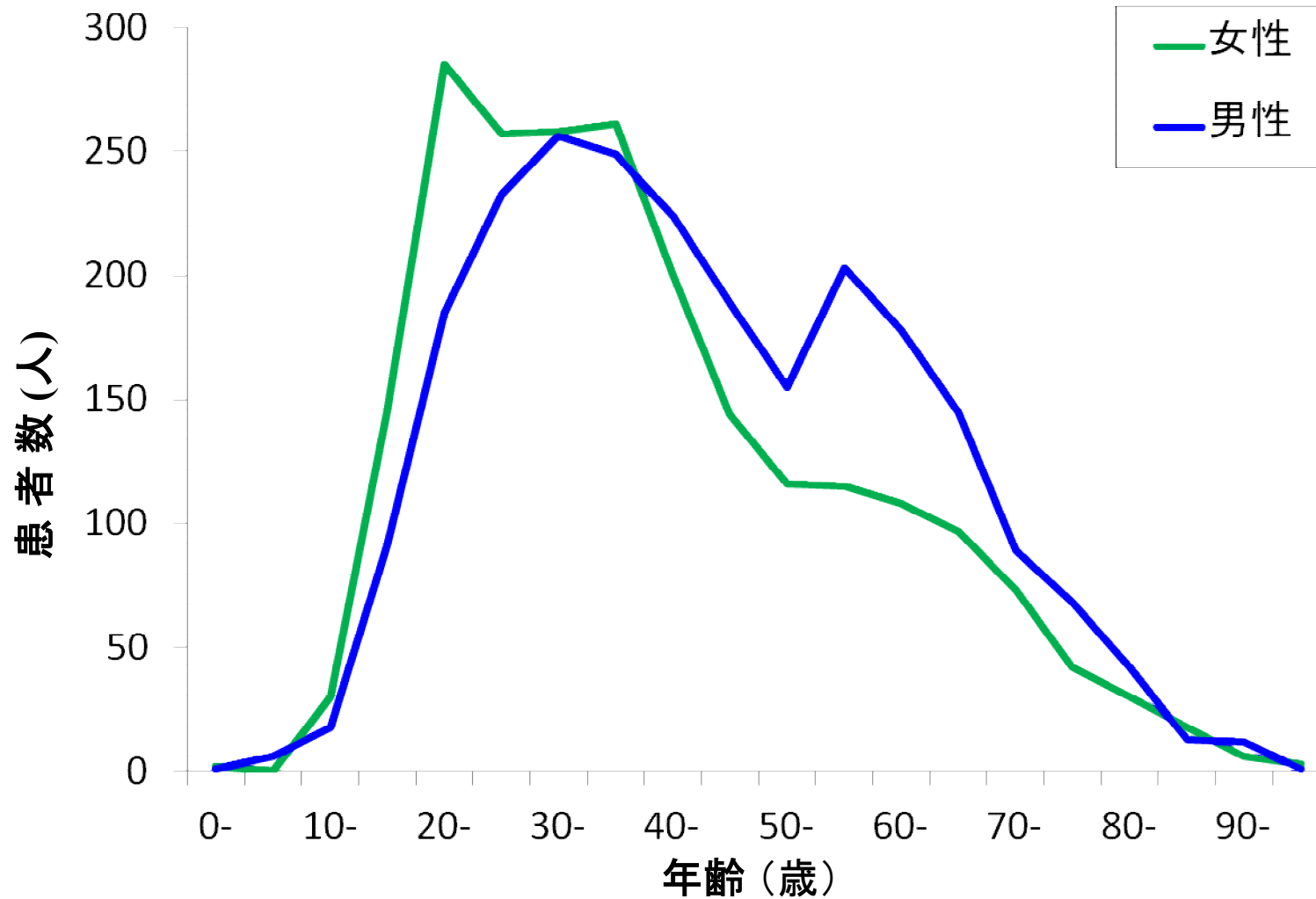
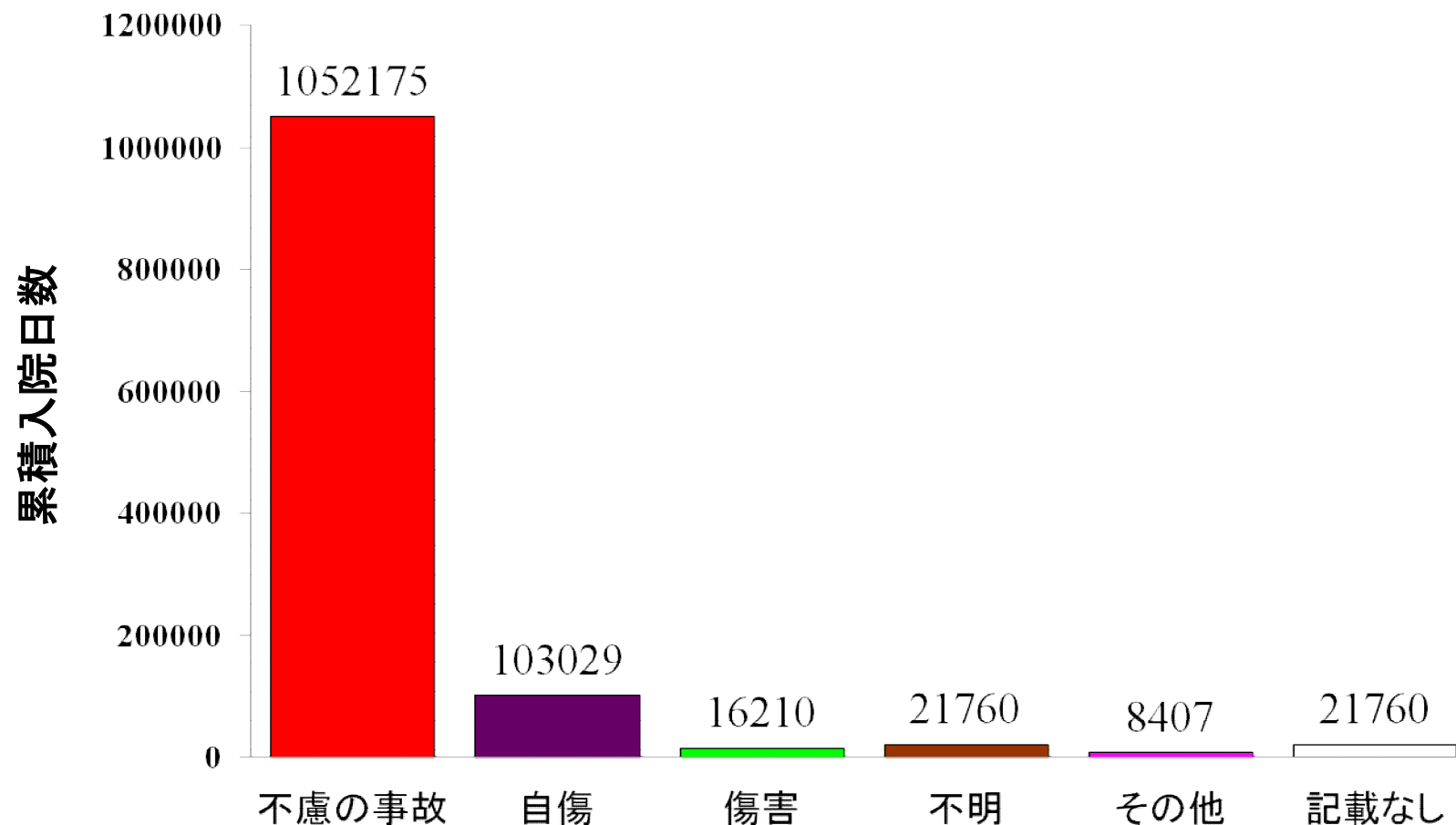


図34 自傷による外傷患者の性別年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2006-2010

年齢	0-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-	65-	70-	75-	80-	85-	90-	95-	不明	計
女性	2	0	30	145	285	257	258	261	200	144	116	115	108	97	73	42	30	18	6	3	13	2203
男性	1	6	18	91	185	233	256	249	224	189	155	203	178	145	89	68	42	13	12	1	17	2375
計	3	6	48	236	470	490	514	510	424	333	271	318	286	242	162	110	72	31	18	4	30	4578

表34 自傷による外傷患者の性別年齢分布



「記載なし」とは、外傷原因の記載がないものを指す。

不慮の事故には、労災も含まれる。

図35A 外傷原因別の累積入院日数

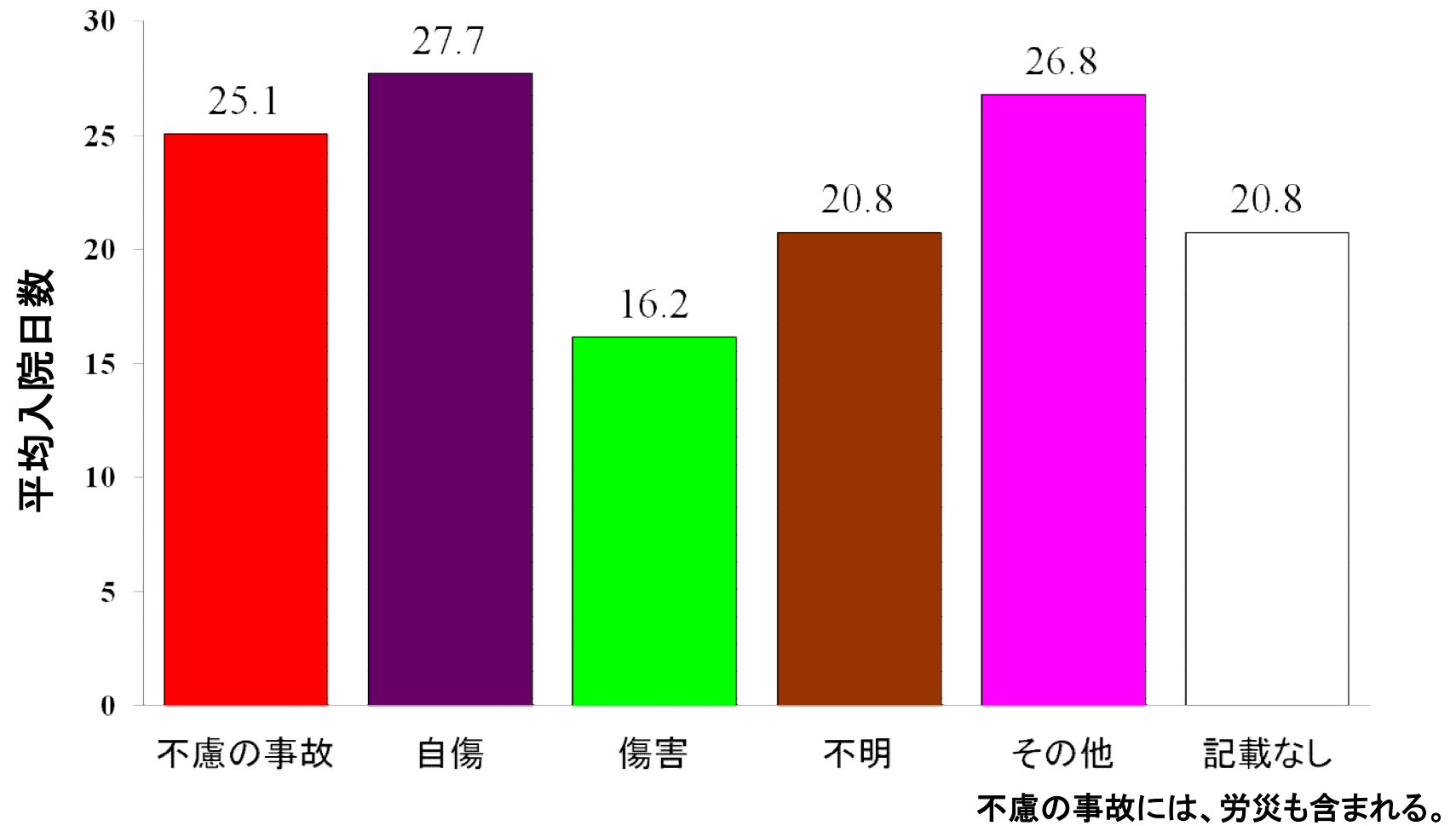


図35B 外傷原因別の平均入院日数

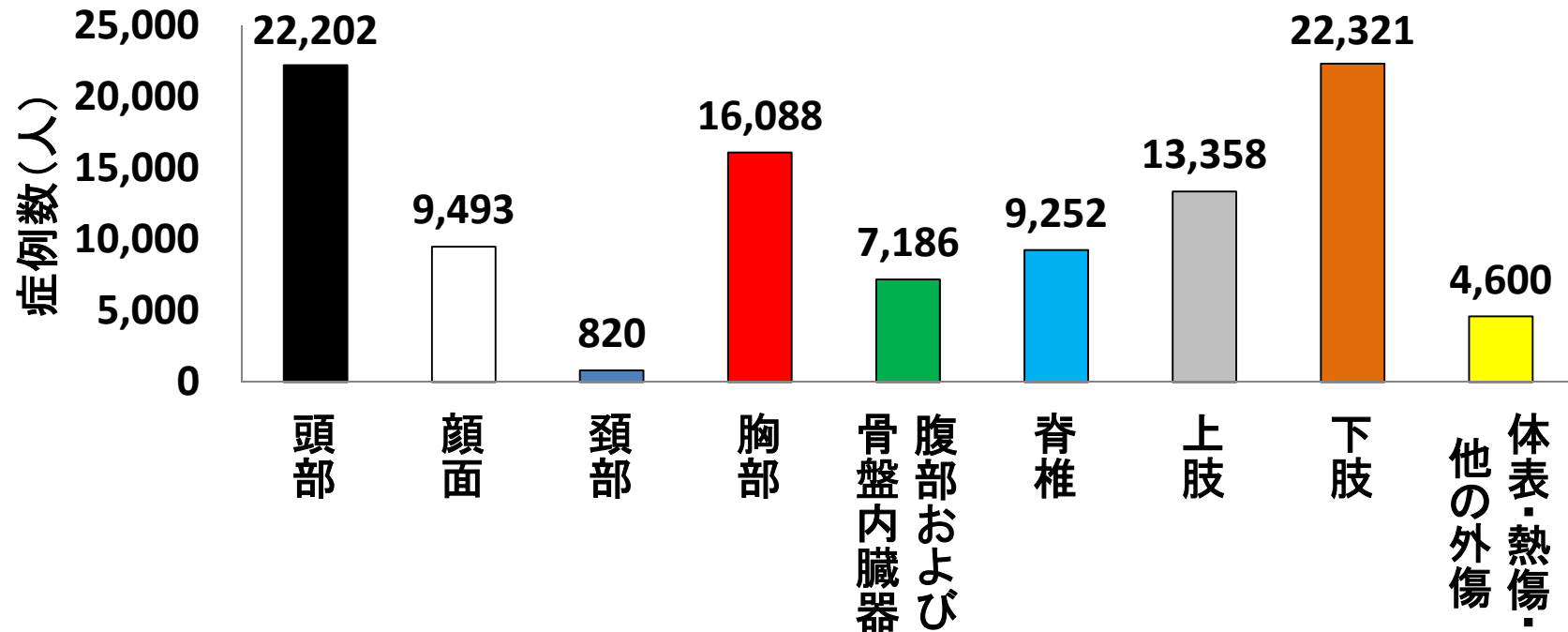


図36 各部位損傷症例数

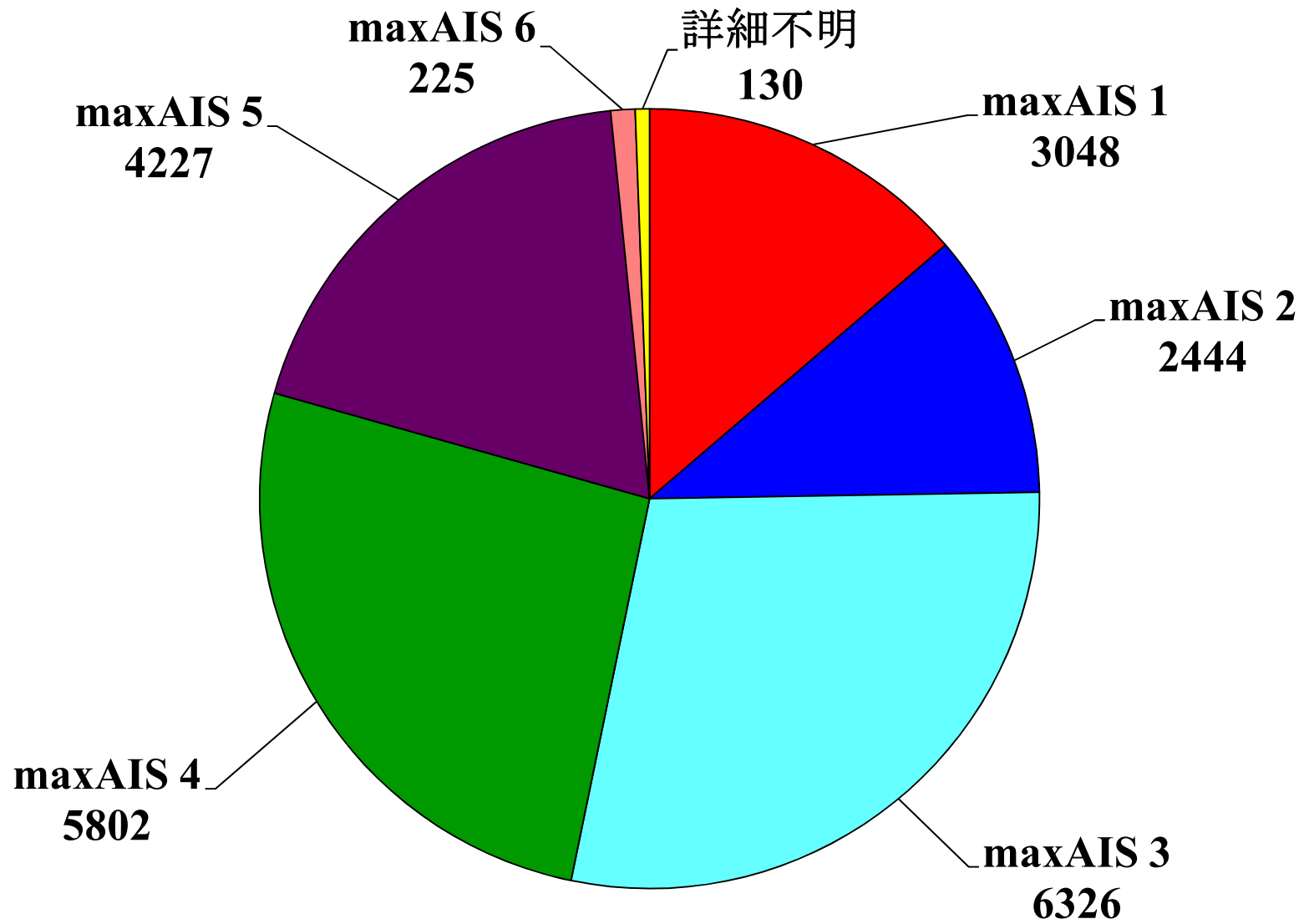


図37A 頭部損傷とmax AIS重症度

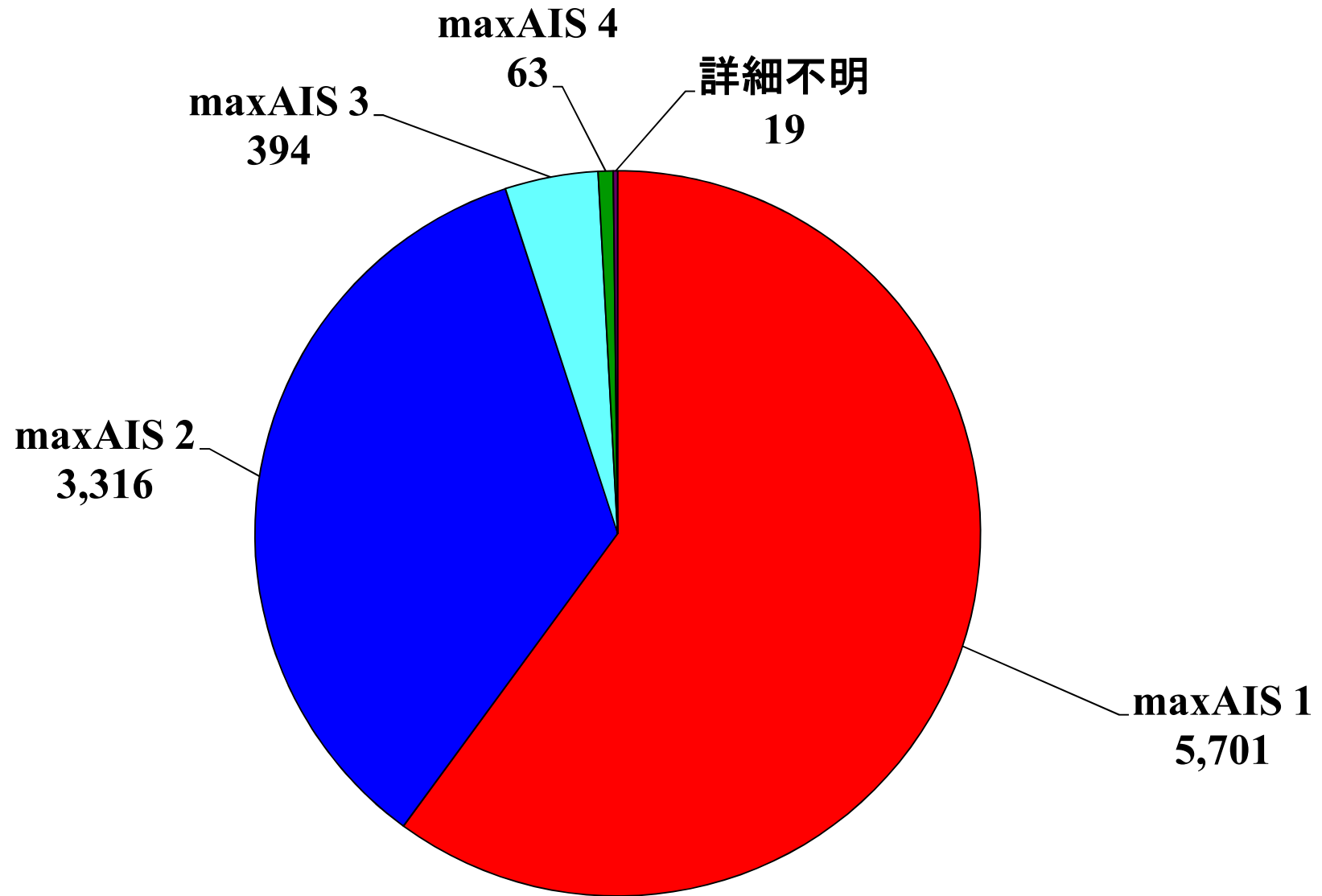


図37B 顔面損傷とmax AIS重症度

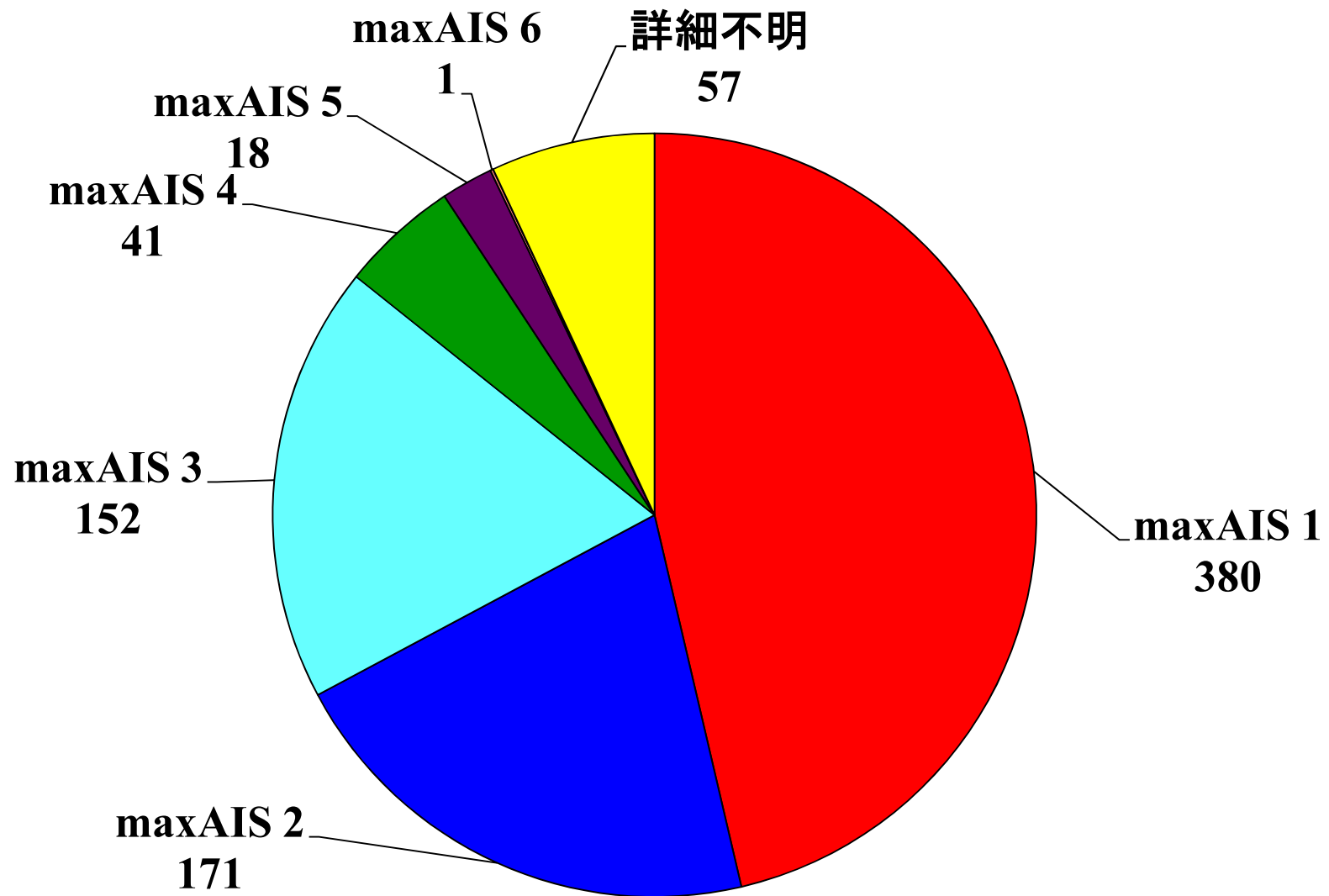


図37C 頸部損傷とmax AIS重症度

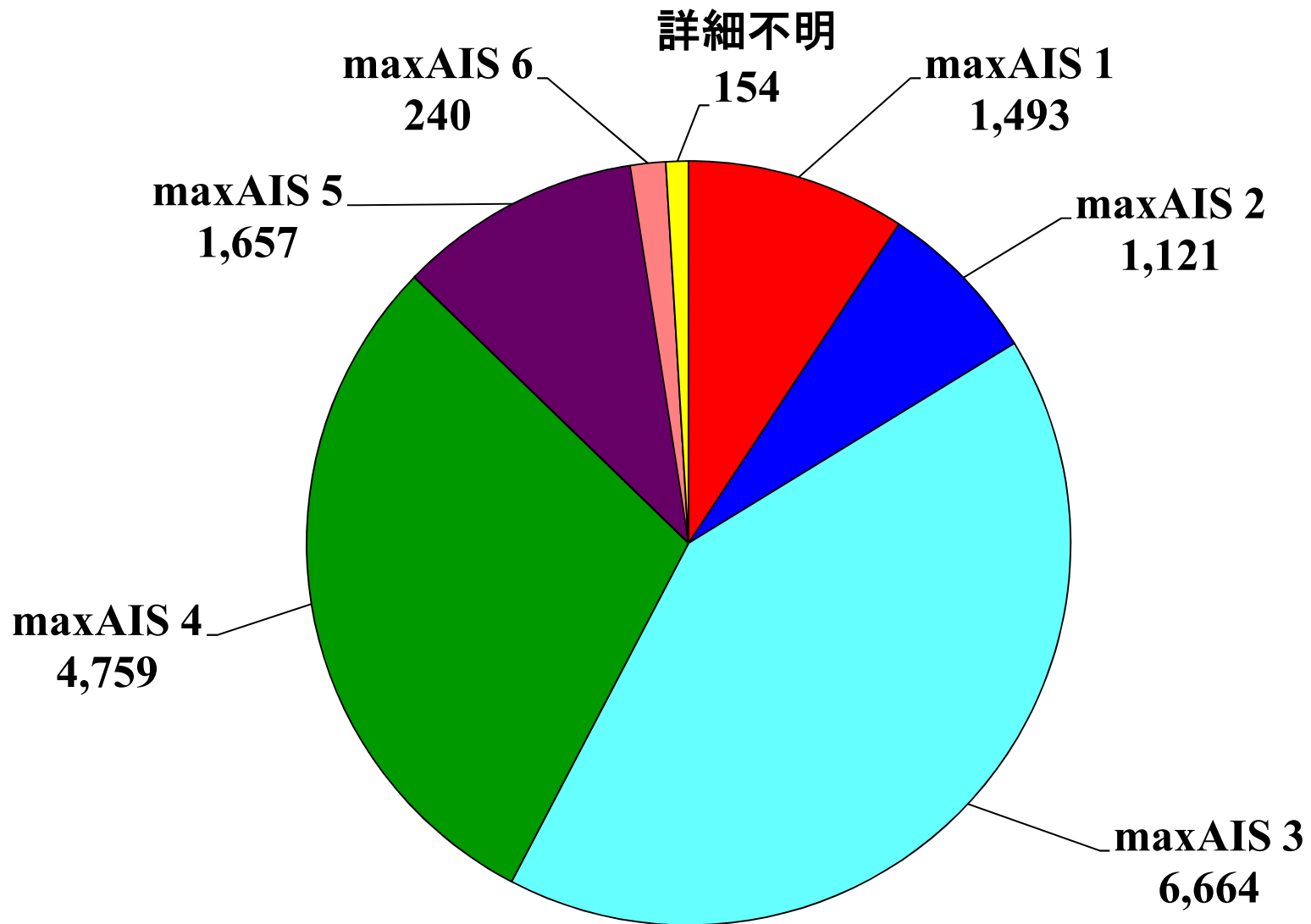


図37D 胸部損傷とmax AIS重症度

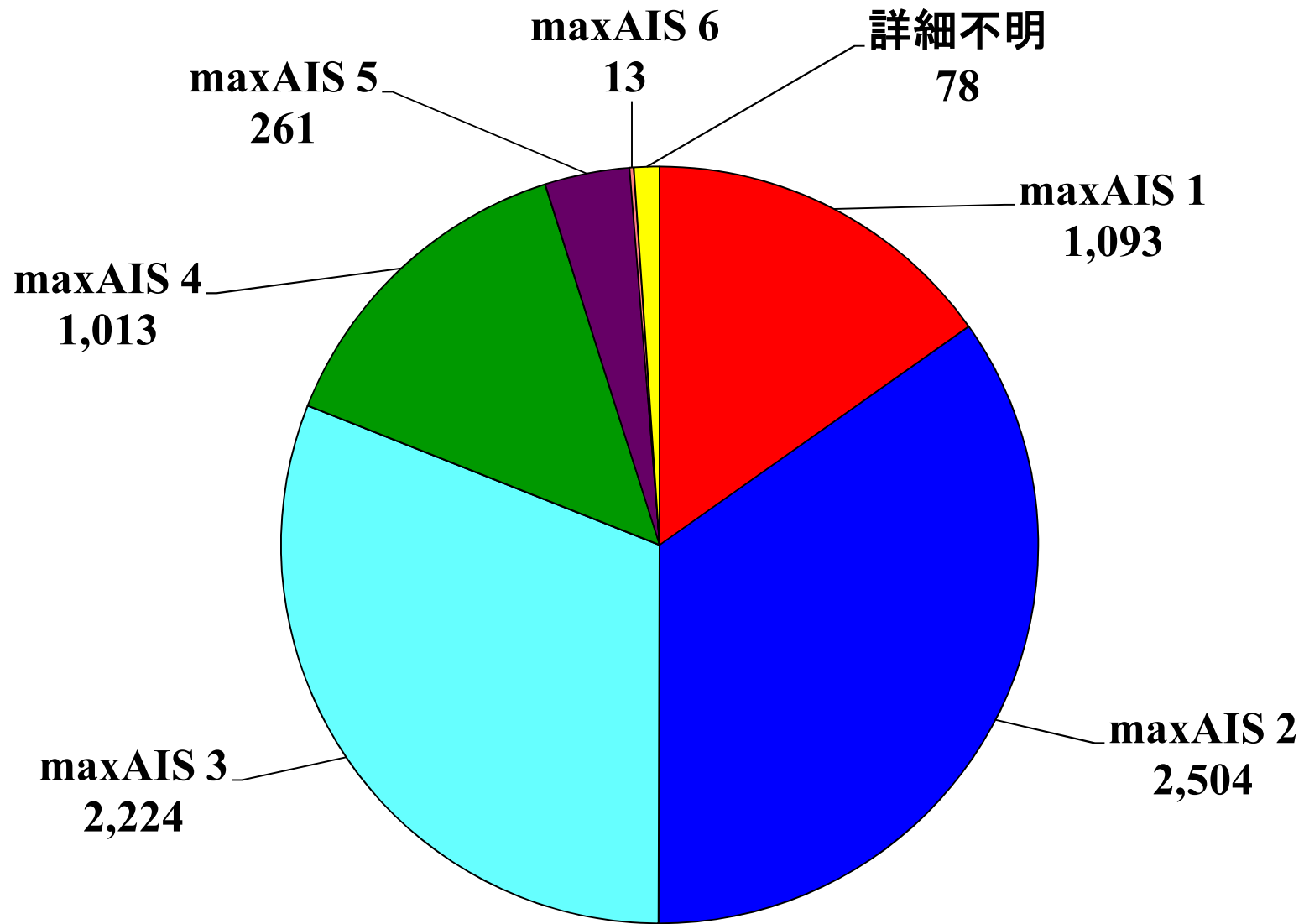


図37E 腹部および骨盤内臓器損傷とmax AIS重症度

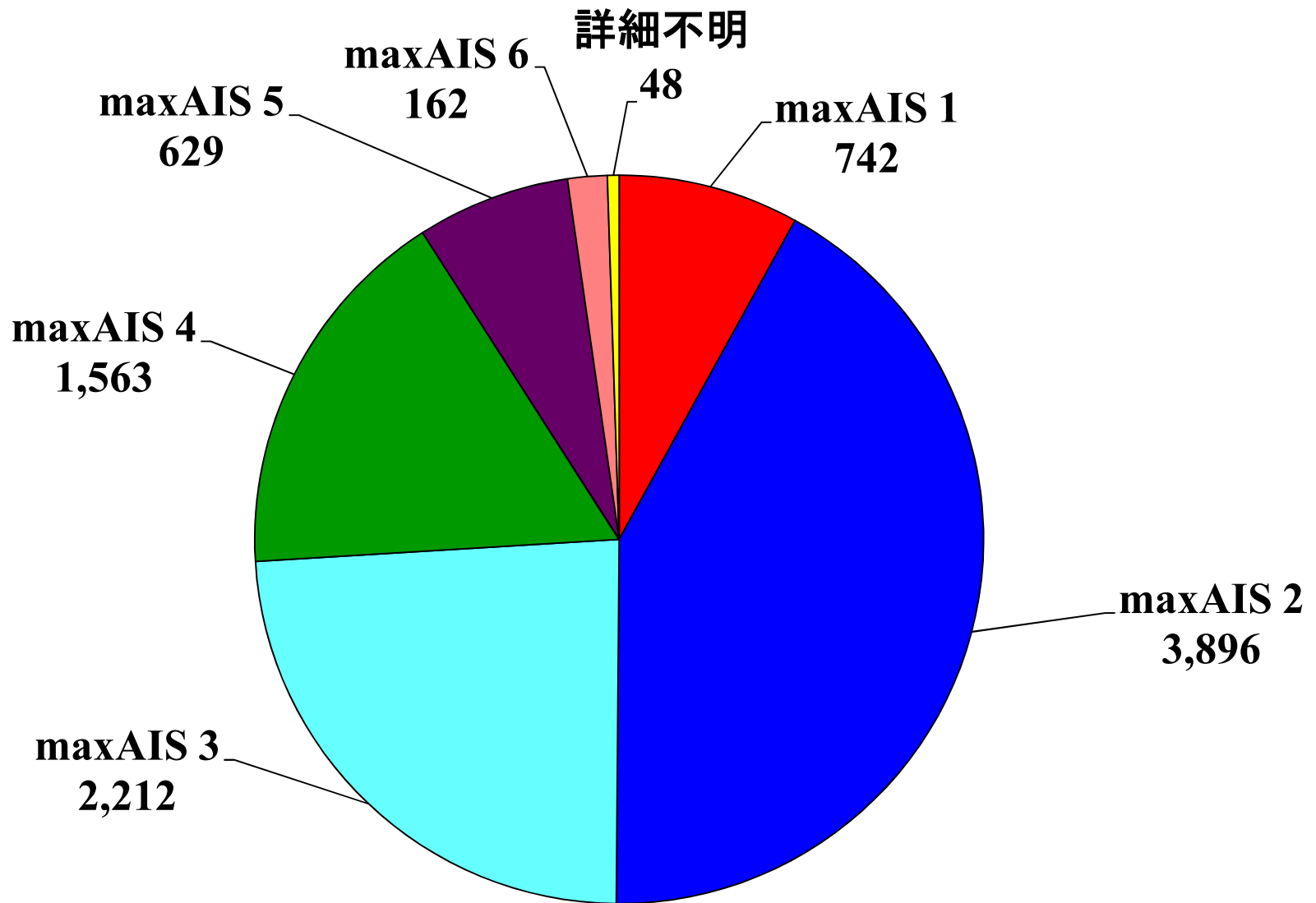


図37F 脊椎損傷とmax AIS重症度

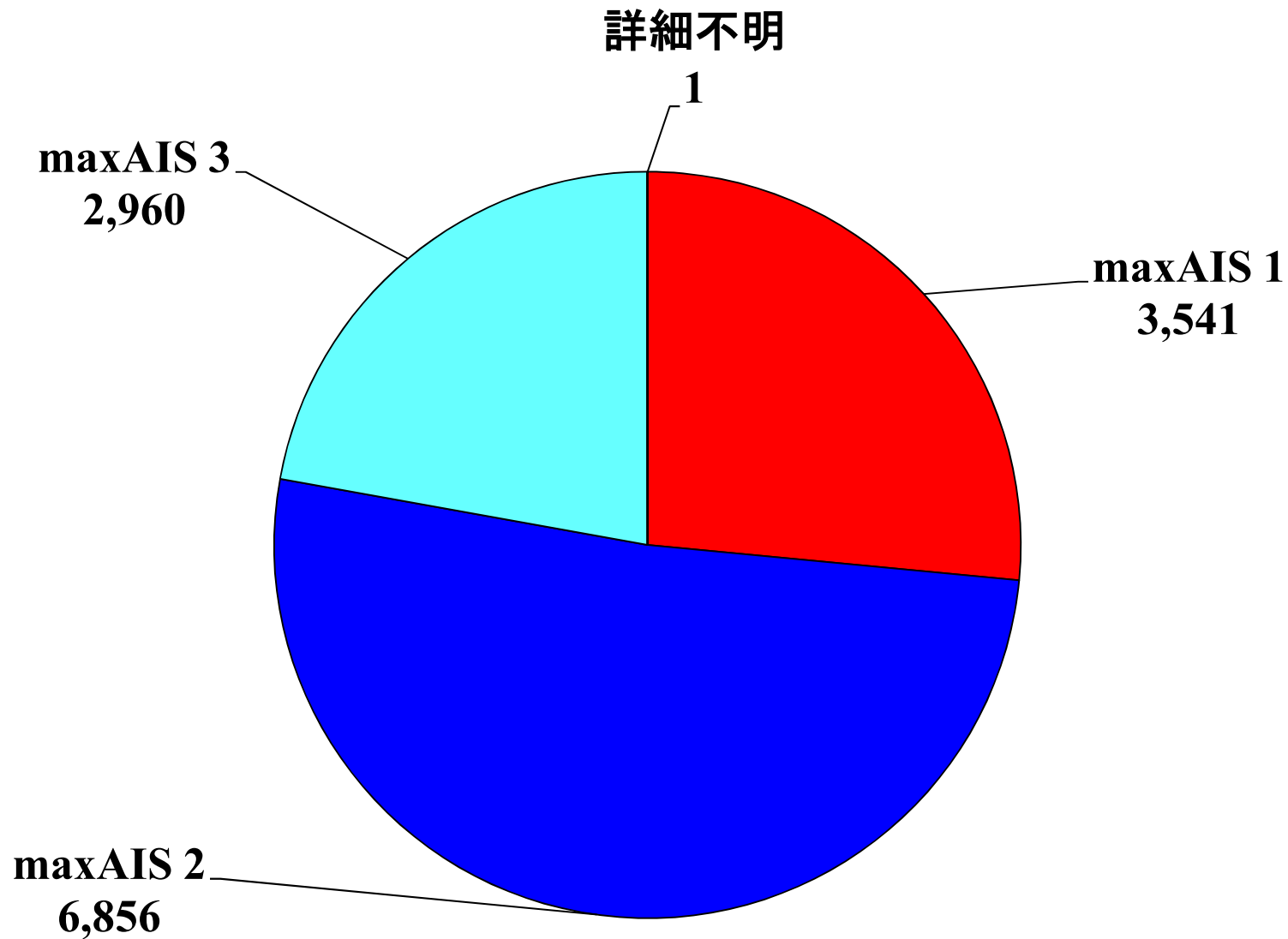


図37G 上肢損傷とmax AIS重症度

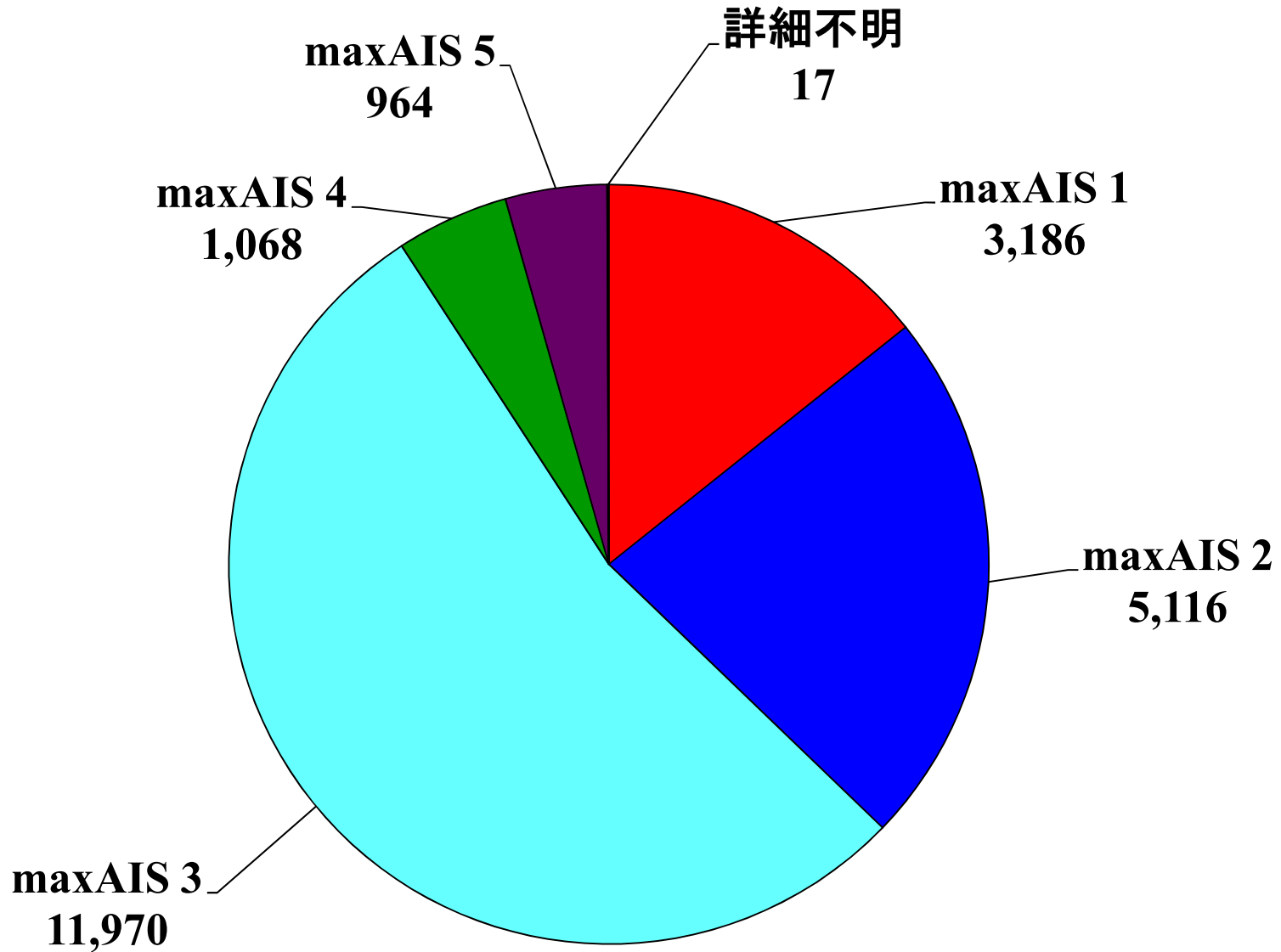


図37H 下肢損傷とmax AIS重症度

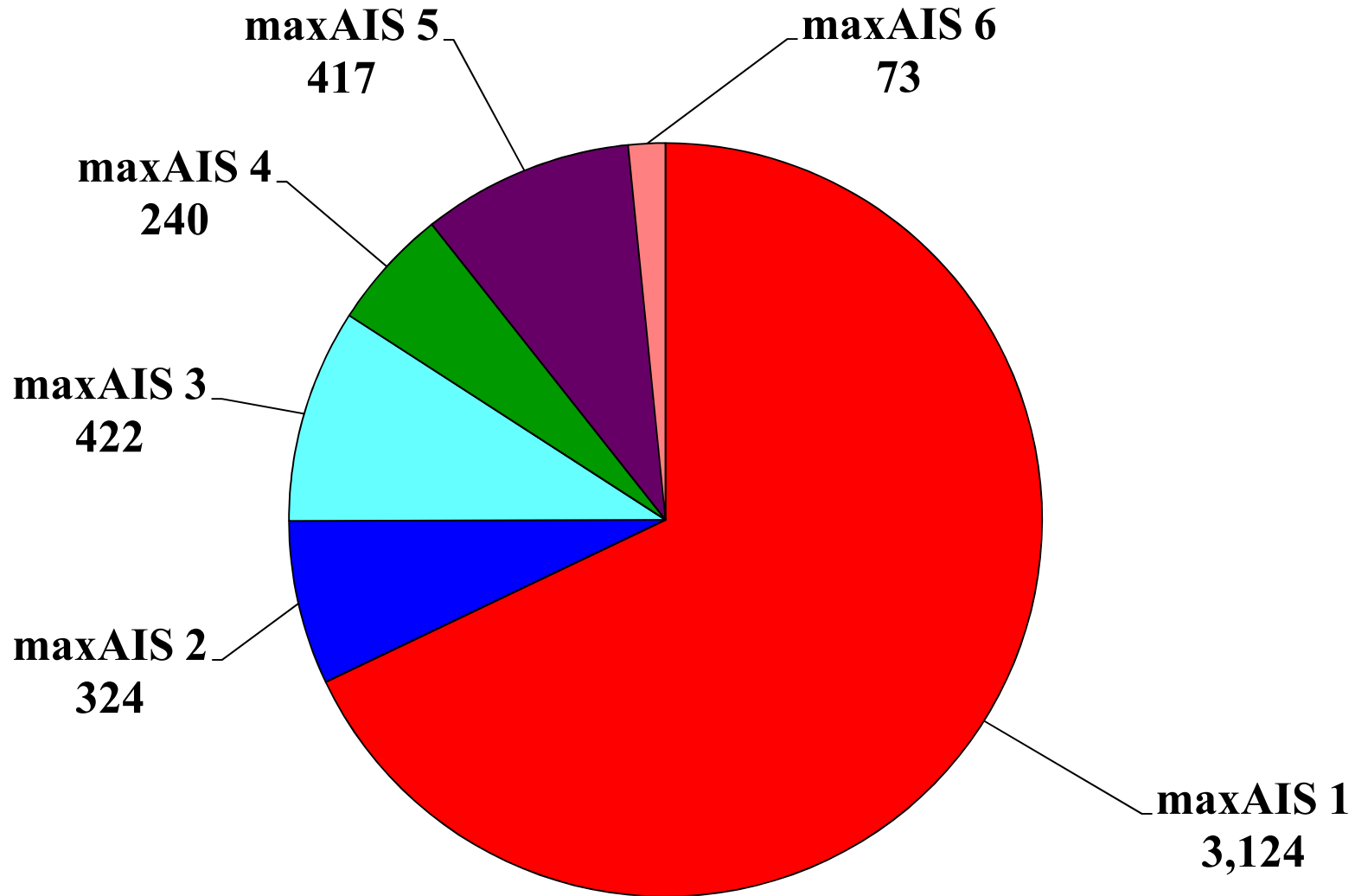


図37I 体表・熱傷・他の外傷とmax AIS重症度

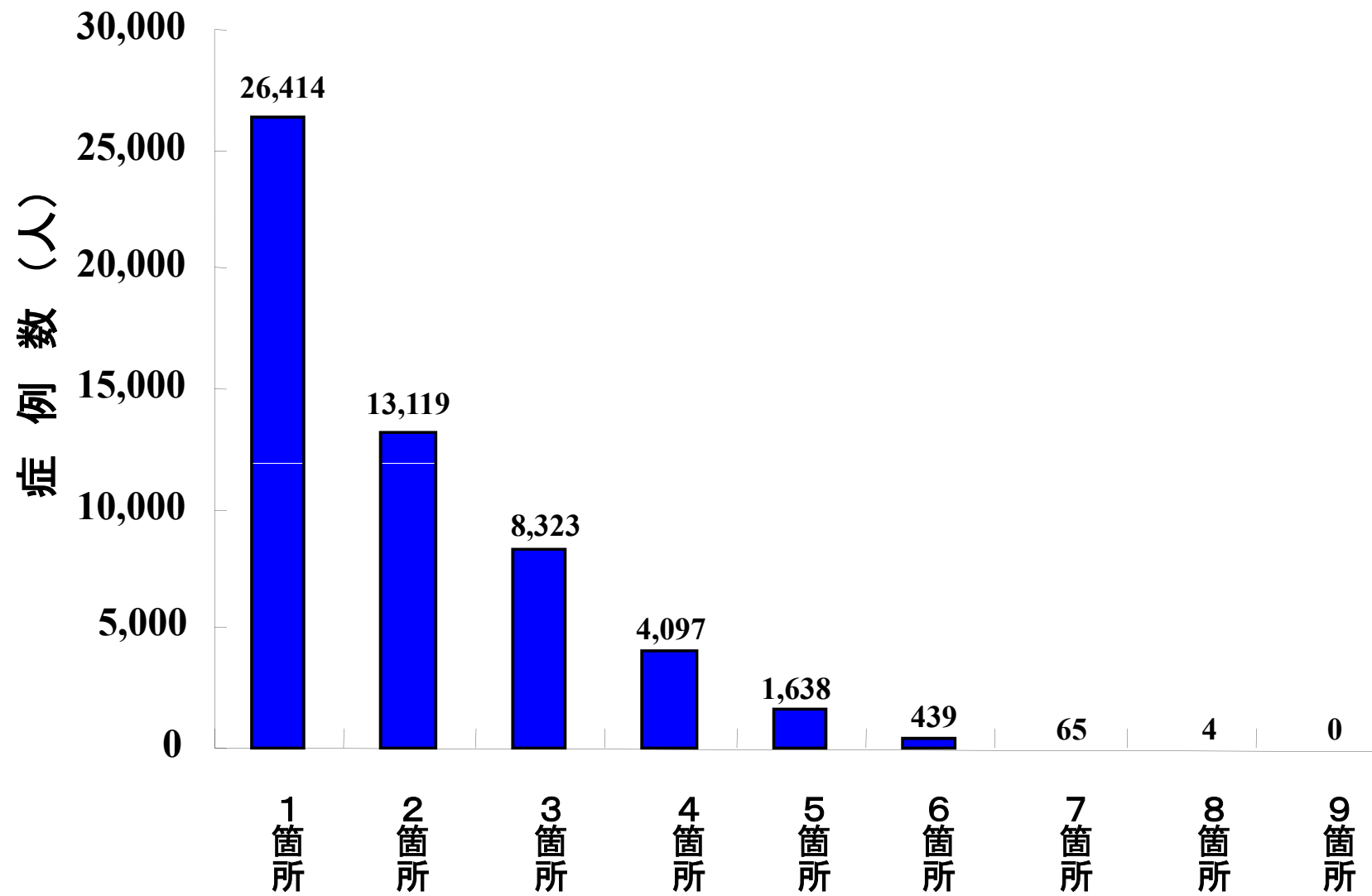


図38 AIS損傷区分に基づく損傷箇所数と症例数

日本外傷データベース報告 2011

(2006-2010)

2011年10月18日

JAPAN TRAUMA DATA BANK

REPORT 2011 (2006-2010)



日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会



日本外傷学会 トraumレジストリー検討委員会

タスクフォース

青木 則明

織田 順

阪本雄一郎

木村昭夫

齋藤大蔵

東平日出夫

中原 慎二

林 宗貴

福田充宏

藤田 尚

増野智彦

三宅康史

森村尚登

山口芳裕